

児童養護施設入所児童等調査の概要

(令和5年2月1日現在)

こども家庭庁支援局家庭福祉課

こども家庭庁支援局障害児支援課

令和6年2月

目次

調査の概要	1
結果の概要	2
I 児童の現在の状況	2
1 現在の年齢 (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
2 委託(入所)時の年齢 (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
3 委託(在所)期間 (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
4 委託(入所)経路 (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
5 就学状況 (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
6 心身の状況 (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
7 罹患傾向 (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
8 特に支援上留意している点 (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
9 学業の状況 (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
10 通学状況 (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、母子生活支援施設、ファミリーホーム)	
II 委託(入所)時の家庭の状況	12
1 養護問題発生理由 (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
2 被虐待経験の有無、虐待の種類 (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
3 委託(入所)時の保護者の状況 (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
III 家族との関係	15
1 家族との交流関係 (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
2 今後の見通し (里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム)	
IV 里親家庭の状況	18
1 里親申込みの動機	
2 登録期間	
3 委託児童数	
4 里親の年齢	
5 里親の仕事の種類	
6 里親家庭の年間所得	
7 里親家庭の住宅所有状況	
V 母子生活支援施設入所世帯(母親)の状況	21
1 児童数	
2 入所理由及び在所期間	
3 入所時の年齢	

- 4 母子世帯になった理由
- 5 公営住宅入居希望の有無及び現在の状況
- 6 従業上の地位及び仕事の種類
- 7 転職希望の有無
- 8 年間所得

VI 児童養護施設の年長児童の状況 25

- 1 就学状況
- 2 生活行動経験
- 3 大切なこと
- 4 高等学校（各種学校）進学希望
- 5 大学（短大）進学希望
- 6 将来の希望（1）－職業－
- 7 将来の希望（2）－家庭復帰、結婚、自立－
- 8 友人関係

VII 児童自立支援施設の年長児童の状況 31

- 1 就学状況
- 2 生活行動経験
- 3 大切なこと
- 4 高等学校（各種学校）進学希望
- 5 大学（短大）進学希望
- 6 将来の希望（1）－職業－
- 7 将来の希望（2）－家庭復帰、結婚、自立－
- 8 友人関係

VIII 自立援助ホームの児童の状況 37

- 1 就学状況
- 2 生活行動経験
- 3 大切なこと
- 4 大学（短大）進学希望
- 5 将来の希望（1）－職業－
- 6 将来の希望（2）－家庭復帰、結婚、自立－
- 7 友人関係

IX 障害児入所施設の児童の状況 43

- 1 障害児入所施設の設置状況
- 2 契約、措置の割合
- 3 入所時の年齢別児童数

- 4 在所期間別児童数
- 5 入所経路
- 6 就学状況
- 7 心身の状況
- 8 罹患傾向
- 9 特に支援上留意している点
- 10 学業の状況
- 11 通学状況

X 障害児入所施設の入所時の家庭の状況 48

- 1 入所理由
- 2 被虐待経験の有無、虐待の種類
- 3 入所時の保護者の状況
- 4 入所時の家庭の課税状況

XI 障害児入所施設の家族との関係 51

- 1 家族との交流関係
- 2 今後の見通し

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、児童福祉法に基づいて、里親若しくは小規模住居型児童養育事業（以下「ファミリーホーム」という。）に委託されている児童、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設及び乳児院に措置されている児童、母子生活支援施設を利用している母子世帯の児童並びにその保護者、児童自立生活援助事業（以下「自立援助ホーム」という。）に入居している児童の実態を明らかにして、要保護児童の福祉増進のための基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の対象及び客体

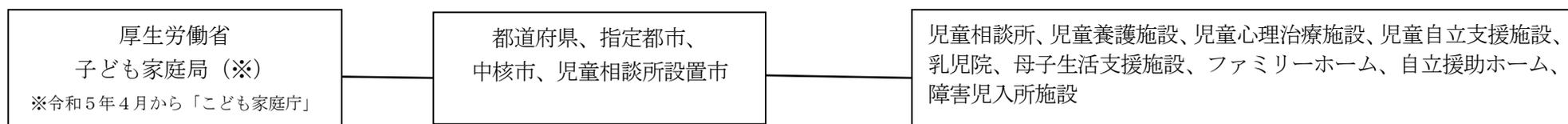
全国の里親委託児童、児童養護施設の入所児童、児童心理治療施設の入所児童、児童自立支援施設の入所児童、乳児院の入所児童、母子生活支援施設の児童並びに保護者、ファミリーホーム委託児童、自立援助ホームの入居児童、障害児入所施設の入所児童を対象とし、その全員を調査客体とした。

客体：里親委託児童	6,057人
児童養護施設入所児童	23,043人（内、中学3年生以上の年長児童 7,738人）
児童心理治療施設入所児童	1,334人
児童自立支援施設入所児童	1,135人（内、中学3年生以上の年長児童 459人）
乳児院入所児童	2,404人
母子生活支援施設入所世帯	2,780世帯 及び 当該児童 4,538人
ファミリーホーム委託児童	1,713人
自立援助ホーム入居児童	958人（内、義務教育を終了した年長児童 949人）
障害児入所施設入所児童	8,244人

3 調査の時期

令和5年2月1日

4 調査の方法



5 結果の集計

結果の集計は、こども家庭庁において行った。

6 利用上の注意

この調査は、すべて全数調査であり、以下の統計数字は実数値である。
なお、構成割合は四捨五入のため、内容の合計が総数に合わない場合もある。
また、総数には不詳を含み、平均には不詳を含まない。

※ 結果については、前回調査の数字を比較の参考として掲載している。（前回調査日 平成30年2月1日）

結果の概要

I 児童の現在の状況

1 現在の年齢（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

現在の年齢別児童数については、里親が6,057人（前回5,382人）、児童養護施設が23,043人（前回27,026人）、児童心理治療施設が1,334人（前回1,367人）、児童自立支援施設が1,135人（前回1,448人）、乳児院が2,404人（前回3,023人）、母子生活支援施設が4,538人（前回5,307人）、ファミリーホームが1,713人（前回1,513人）、自立援助ホームが958人（前回616人）となっている。また、平均年齢は、里親が9.9歳（前回10.2歳）、児童養護施設が11.8歳（前回11.5歳）、児童心理治療施設が12.7歳（前回12.6歳）、児童自立支援施設が13.9歳（前回14.0歳）、乳児院が1.6歳（前回1.4歳）、母子生活支援施設が7.6歳（前回7.3歳）、ファミリーホームが11.8歳（前回11.6歳）、自立援助ホームが17.8歳（前回17.7歳）となっている。

表1 現在の年齢別児童数

	児童数								構成割合(%)							
	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	母子生活支援施設	ファミリーホーム	自立援助ホーム	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	母子生活支援施設	ファミリーホーム	自立援助ホーム
総数	6,057	23,043	1,334	1,135	2,404	4,538	1,713	958	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
男	3,111	12,008	766	812	1,306	2,338	923	421	51.4%	52.1%	57.4%	71.5%	54.3%	51.5%	53.9%	43.9%
女	2,926	10,801	546	303	1,082	2,181	773	529	48.3%	46.9%	40.9%	26.7%	45.0%	48.1%	45.1%	55.2%
0歳	181	6	0	0	473	112	6	-	3.0%	0.0%	-	-	19.7%	2.5%	0.4%	-
1歳	181	8	0	0	727	269	18	-	3.0%	0.0%	-	-	30.2%	5.9%	1.1%	-
2歳	250	101	0	0	688	306	22	-	4.1%	0.4%	-	-	28.6%	6.7%	1.3%	-
3歳	328	440	2	0	352	341	45	-	5.4%	1.9%	0.1%	-	14.6%	7.5%	2.6%	-
4歳	371	757	3	0	117	355	53	-	6.1%	3.3%	0.2%	-	4.9%	7.8%	3.1%	-
5歳	333	896	5	0	40	361	61	-	5.5%	3.9%	0.4%	-	1.7%	8.0%	3.6%	-
6歳	351	1,080	8	0	6	339	76	-	5.8%	4.7%	0.6%	-	0.2%	7.5%	4.4%	-
7歳	306	1,159	25	0	-	308	93	-	5.1%	5.0%	1.9%	-	-	6.8%	5.4%	-
8歳	308	1,262	46	2	-	288	85	-	5.1%	5.5%	3.4%	0.2%	-	6.3%	5.0%	-
9歳	302	1,373	84	8	-	306	105	-	5.0%	6.0%	6.3%	0.7%	-	6.7%	6.1%	-
10歳	291	1,486	129	17	-	273	101	-	4.8%	6.4%	9.7%	1.5%	-	6.0%	5.9%	-
11歳	297	1,585	159	46	-	245	97	-	4.9%	6.9%	11.9%	4.1%	-	5.4%	5.7%	-
12歳	287	1,684	169	104	-	233	131	-	4.7%	7.3%	12.7%	9.2%	-	5.1%	7.6%	-
13歳	279	1,708	145	187	-	190	95	-	4.6%	7.4%	10.9%	16.5%	-	4.2%	5.5%	-
14歳	327	1,921	209	339	-	180	117	-	5.4%	8.3%	15.7%	29.9%	-	4.0%	6.8%	-
15歳	341	1,963	148	344	-	177	135	16	5.6%	8.5%	11.1%	30.3%	-	3.9%	7.9%	1.7%
16歳	365	1,910	79	55	-	108	136	164	6.0%	8.3%	5.9%	4.8%	-	2.4%	7.9%	17.1%
17歳	367	1,815	54	20	-	83	154	247	6.1%	7.9%	4.0%	1.8%	-	1.8%	9.0%	25.8%
18歳	385	1,575	48	9	-	38	111	251	6.4%	6.8%	3.6%	0.8%	-	0.8%	6.5%	26.2%
19歳	194	249	18	1	-	14	60	191	3.2%	1.1%	1.3%	0.1%	-	0.3%	3.5%	19.9%
20歳	-	-	-	-	-	-	-	61	-	-	-	-	-	-	-	6.4%
21歳	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	1.9%
22歳	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	0.9%
平均年齢	9.9歳	11.8歳	12.7歳	13.9歳	1.6歳	7.6歳	11.8歳	17.8歳

2 委託（入所）時の年齢（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

委託時又は入所時の年齢については、里親及び児童養護施設では2歳、児童心理治療施設では10歳、児童自立支援施設では13歳、乳児院では0歳、ファミリーホームでは3歳、自立援助ホームでは16歳が最も多くなっている。

また、6歳未満で委託又は入所した割合については、乳児院の全部をはじめ、里親で62.0%（前回56.7%）、児童養護施設で48.2%（前回50.2%）、ファミリーホームで40.9%（前回33.9%）となっている。12歳以上で入所した児童は、児童養護施設で17.4%（前回15.8%）、児童心理治療施設で32.7%（前回40.5%）、児童自立支援施設で81.5%（前回81.4%）となっている。

表2 委託時又は入所時の年齢別児童数

	児童数							構成割合(%)						
	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム
総数	6,057	23,043	1,334	1,135	2,404	1,713	958	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0歳	816	68	0	0	1,729	92	-	13.5%	0.3%	0.0%	-	71.9%	5.4%	-
1歳	677	421	2	0	477	97	-	11.2%	1.8%	0.1%	-	19.8%	5.7%	-
2歳	836	3,824	3	0	148	138	-	13.8%	16.6%	0.2%	-	6.2%	8.1%	-
3歳	687	3,186	6	0	40	150	-	11.3%	13.8%	0.4%	-	1.7%	8.8%	-
4歳	409	2,007	3	0	5	112	-	6.8%	8.7%	0.2%	-	0.2%	6.5%	-
5歳	328	1,592	9	0	0	111	-	5.4%	6.9%	0.7%	-	0.0%	6.5%	-
6歳	330	1,663	75	0	0	123	-	5.4%	7.2%	5.6%	-	0.0%	7.2%	-
7歳	246	1,396	117	2	-	91	-	4.1%	6.1%	8.8%	0.2%	-	5.3%	-
8歳	197	1,318	156	11	-	107	-	3.3%	5.7%	11.7%	1.0%	-	6.2%	-
9歳	171	1,283	165	21	-	91	-	2.8%	5.6%	12.4%	1.9%	-	5.3%	-
10歳	186	1,164	184	48	-	77	-	3.1%	5.1%	13.8%	4.2%	-	4.5%	-
11歳	126	1,085	175	121	-	76	-	2.1%	4.7%	13.1%	10.7%	-	4.4%	-
12歳	183	1,052	155	202	-	78	-	3.0%	4.6%	11.6%	17.8%	-	4.6%	-
13歳	173	964	142	351	-	80	-	2.9%	4.2%	10.6%	30.9%	-	4.7%	-
14歳	183	853	82	276	-	86	-	3.0%	3.7%	6.1%	24.3%	-	5.0%	-
15歳	217	706	34	70	-	95	170	3.6%	3.1%	2.5%	6.2%	-	5.5%	17.7%
16歳	163	288	15	21	-	65	301	2.7%	1.2%	1.1%	1.9%	-	3.8%	31.4%
17歳	93	121	6	5	-	34	252	1.5%	0.5%	0.4%	0.4%	-	2.0%	26.3%
18歳	23	17	2	0	-	4	182	0.4%	0.1%	0.1%	-	-	0.2%	19.0%
19歳	3	0	0	0	-	0	35	-	-	-	-	-	-	3.7%
20歳	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0.0%
21歳	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	0.1%
22歳	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0.0%
平均年齢	5.4歳	6.7歳	10.2歳	12.8歳	0.4歳	7.5歳	16.6歳

3 委託（在所）期間（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

委託期間又は在所期間については、「1年未満」が多く、期間が長くなるに従い、児童数が漸減する傾向となっている。

また、平均委託（在所）期間については、里親4.5年（前回4.5年）、児童養護施設5.2年（前回5.2年）、児童心理治療施設2.5年（前回2.2年）、児童自立支援施設1.1年（前回1.1年）、乳児院1.4年（前回1.3年）、ファミリーホーム4.3年（前回3.6年）、自立援助ホーム1.2年（前回1.1年）となっている。

表3 委託期間又は在所期間別児童数

	児童数							構成割合(%)						
	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム
総数	6,057	23,043	1,334	1,135	2,404	1,713	958	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1年未満	1,280	3,357	338	580	1,071	312	533	21.1%	14.6%	25.3%	51.1%	44.6%	18.2%	55.6%
1年以上2年未満	905	3,151	338	407	733	274	247	14.9%	13.7%	25.3%	35.9%	30.5%	16.0%	25.8%
2年以上3年未満	702	2,549	256	101	380	198	102	11.6%	11.1%	19.2%	8.9%	15.8%	11.6%	10.6%
3年以上4年未満	585	2,372	166	33	153	210	40	9.7%	10.3%	12.4%	2.9%	6.4%	12.3%	4.2%
4年以上5年未満	465	1,969	99	10	44	150	17	7.7%	8.5%	7.4%	0.9%	1.8%	8.8%	1.8%
5年以上6年未満	368	1,594	56	-	16	116	3	6.1%	6.9%	4.2%	-	0.7%	6.8%	0.3%
6年以上7年未満	327	1,354	46	-	3	78	1	5.4%	5.9%	3.4%	-	0.1%	4.6%	0.1%
7年以上8年未満	243	1,228	11	-	-	87	-	4.0%	5.3%	0.8%	-	-	5.1%	-
8年以上9年未満	220	1,103	10	-	-	70	-	3.6%	4.8%	0.7%	-	-	4.1%	-
9年以上10年未満	172	914	8	-	-	61	-	2.8%	4.0%	0.6%	-	-	3.6%	-
10年以上11年未満	152	784	4	-	-	44	-	2.5%	3.4%	0.3%	-	-	2.6%	-
11年以上12年未満	157	657	1	-	-	40	-	2.6%	2.9%	0.1%	-	-	2.3%	-
12年以上	477	1,990	-	-	-	68	-	7.9%	8.6%	-	-	-	4.0%	-
平均期間	4.5年	5.2年	2.5年	1.1年	1.4年	4.3年	1.2年

4 委託（入所）経路（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

委託経路又は入所経路については、里親では「家庭から」が43.9%（前回42.5%）と最も高く、次いで「乳児院から」が29.8%（前回28.3%）、「児童養護施設から」が11.9%（前回14.7%）となっている。

児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホームでも「家庭から」が、それぞれ62.4%（前回62.1%）、60.9%（前回56.4%）、59.3%（前回57.4%）、43.8%（前回62.2%）、39.3%（前回37.8%）、47.6%（前回43.3%）と最も高くなっている。

表4 委託経路又は入所経路別児童数

	総数	家庭から	乳児院から	児童養護施設から	児童自立支援施設から	他の児童福祉施設から	里親家庭から	家庭裁判所から	ファミリーホームから	医療機関から	単身から	その他から
里親	6,057 100.0%	2,660 43.9%	1,808 29.8%	722 11.9%	* 11.9%	71 1.2%	334 5.5%	* 0.1%	78 1.3%	178 2.9%	* 0.1%	149 2.5%
児童養護施設	23,043 100.0%	14,388 62.4%	5,185 22.5%	821 3.6%	* 3.6%	915 4.0%	729 3.2%	20 0.1%	137 0.6%	111 0.5%	* 0.1%	548 2.4%
児童心理治療施設	1,334 100.0%	813 60.9%	8 0.6%	207 15.5%	* 15.5%	57 4.3%	61 4.6%	* 0.1%	24 1.8%	132 9.9%	* 0.1%	17 1.3%
児童自立支援施設	1,135 100.0%	673 59.3%	* 0.0%	178 15.7%	* 15.7%	67 5.9%	14 1.2%	140 12.3%	13 1.1%	15 1.3%	* 0.1%	28 2.5%
乳児院	2,404 100.0%	1,052 43.8%	81 3.4%	* 0.0%	* 0.0%	* 0.0%	75 3.1%	* 0.1%	12 0.5%	1,025 42.6%	* 0.1%	150 6.2%
ファミリーホーム	1,713 100.0%	674 39.3%	273 15.9%	247 14.4%	* 14.4%	93 5.4%	176 10.3%	* 0.1%	40 2.3%	44 2.6%	* 0.1%	136 7.9%
自立援助ホーム	958 100.0%	456 47.6%	* 0.0%	168 17.5%	51 5.3%	44 4.6%	43 4.5%	* 0.1%	20 2.1%	22 2.3%	26 2.7%	120 12.5%

注) *は、調査項目としていない。

5 就学状況（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

就学状況については、里親及び母子生活支援施設では「就学前」が最も高く、それぞれ 32.5%（前回 30.6%）、45.5%（前回 48.1%）となっており、児童養護施設、児童心理治療施設及びファミリーホームでは「小学校」が最も高く、それぞれ 36.9%（前回 36.7%）、45.2%（前回 42.6%）、35.6%（前回 33.4%）となっている。また、児童自立支援施設では「中学校」が最も高く、77.4%（前回 78.2%）、自立援助ホームでは「中学卒」が最も高く、76.6%（前回 77.8%）となっている。

表5 就学状況別児童数

	総数	就学前(未就園)	就学前(保育園等)	就学前(幼稚園)	小学校低学年(小1～小3)	小学校高学年(小4～小6)	中学校	中学卒				高校卒						
								高校(公立)	高校(私立)	就職	その他	大学・短大(公立)	大学・短大(私立)	特別支援学校専攻科	専修・各種学校	職業訓練校	就職	その他
里親	6,057 100.0%	553 9.1%	900 14.9%	513 8.5%	927 15.3%	872 14.4%	954 15.8%	690 11.4%	370 6.1%	6 0.1%	69 1.1%	11 0.2%	85 1.4%	1 0.0%	56 0.9%	3 0.0%	22 0.4%	22 0.4%
児童養護施設	23,043 100.0%	844 3.7%	245 1.1%	2,101 9.1%	3,796 16.5%	4,717 20.5%	5,583 24.2%	3,758 16.3%	1,307 5.7%	11 0.0%	322 1.4%	26 0.1%	69 0.3%	12 0.1%	77 0.3%	4 0.0%	51 0.2%	51 0.2%
児童心理治療施設	1,334 100.0%	6 -	0 -	11 0.8%	147 11.0%	456 34.2%	508 38.1%	104 7.8%	66 4.9%	1 0.1%	25 1.9%	1 -	1 -	0 -	2 -	0 -	0 -	4 -
児童自立支援施設	1,135 100.0%	- -	- -	- -	10 0.9%	158 13.9%	879 77.4%	33 2.9%	14 1.2%	1 0.1%	37 3.3%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
母子生活支援施設	4,538 100.0%	332 7.3%	1,649 36.3%	84 1.9%	902 19.9%	764 16.8%	545 12.0%	145 3.2%	60 1.3%	- -	35 0.8%	2 0.0%	4 0.1%	2 0.0%	1 0.0%	- -	4 0.1%	3 0.1%
ファミリーホーム	1,713 100.0%	63 3.7%	75 4.4%	132 7.7%	284 16.6%	325 19.0%	353 20.6%	263 15.4%	111 6.5%	1 0.1%	30 1.8%	6 0.4%	26 1.5%	1 0.1%	14 0.8%	- -	10 0.6%	9 0.5%
自立援助ホーム	958 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	315 32.9%	164 17.1%	102 10.6%	153 16.0%	4 0.4%	49 5.1%	- -	30 3.1%	2 0.2%	76 7.9%	48 5.0%

6 心身の状況（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

心身の状況については、「該当あり」の割合が、里親では29.6%（前回24.9%）、児童養護施設では42.8%（前回36.7%）、児童心理治療施設では87.6%（前回85.7%）、児童自立支援施設では72.7%（前回61.8%）、乳児院では27.0%（前回30.2%）、母子生活支援施設では31.0%（前回24.4%）、ファミリーホームでは51.2%（前回46.5%）、自立援助ホームでは50.8%（前回46.3%）となっている。

表6 心身の状況別児童数

	総数	該当あり	心身の状況(複数回答)																		該当しない	
			身体虚弱	肢体不自由	重度心身障害	視覚障害	聴覚障害	言語障害	知的障害	てんかん	外傷後ストレス障害(PTSD)	反応性愛着障害	注意欠陥多動性障害(ADHD)	学習障害(LD)	広汎性発達障害(自閉症スペクトラム)	チック	吃音症	発達性協調運動障害	高次脳機能障害	その他の障害等		LGBT
里親	6,057	1,793	62	36	6	32	22	32	604	43	69	186	456	63	559	18	15	18	3	302	24	4,258
	100.0%	29.6%	1.0%	0.6%	0.1%	0.5%	0.4%	0.5%	10.0%	0.7%	1.1%	3.1%	7.5%	1.0%	9.2%	0.3%	0.2%	0.3%	0.0%	5.0%	0.4%	70.3%
児童養護施設	23,043	9,853	193	64	5	106	63	128	3,226	233	511	1,609	3,066	419	2,743	296	144	124	11	1,491	75	13,043
	100.0%	42.8%	0.8%	0.3%	0.0%	0.5%	0.3%	0.6%	14.0%	1.0%	2.2%	7.0%	13.3%	1.8%	11.9%	1.3%	0.6%	0.5%	0.0%	6.5%	0.3%	56.6%
児童心理治療施設	1,334	1,168	8	0	1	1	3	6	126	27	144	260	642	46	675	23	14	12	1	223	3	161
	100.0%	87.6%	0.6%	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.4%	9.4%	2.0%	10.8%	19.5%	48.1%	3.4%	50.6%	1.7%	1.0%	0.9%	0.1%	16.7%	0.2%	12.1%
児童自立支援施設	1,135	825	1	0	0	1	0	1	144	13	56	119	480	31	447	23	10	7	0	161	4	303
	100.0%	72.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	12.7%	1.1%	4.9%	10.5%	42.3%	2.7%	39.4%	2.0%	0.9%	0.6%	0.0%	14.2%	0.4%	26.7%
乳児院	2,404	649	261	40	18	33	27	52	110	38	6	7	17	0	40	0	2	9	5	281	*	1,750
	100.0%	27.0%	10.9%	1.7%	0.7%	1.4%	1.1%	2.2%	4.6%	1.6%	0.2%	0.3%	0.7%	0.0%	1.7%	0.0%	0.1%	0.4%	0.2%	11.7%		72.8%
母子生活支援施設	4,538	1,409	59	17	7	19	13	53	418	30	47	48	343	45	458	35	29	15	2	315	6	3,095
	100.0%	31.0%	1.3%	0.4%	0.2%	0.4%	0.3%	1.2%	9.2%	0.7%	1.0%	1.1%	7.6%	1.0%	10.1%	0.8%	0.6%	0.3%	0.0%	6.9%	0.1%	68.2%
ファミリーホーム	1,713	877	34	14	9	26	14	26	271	19	69	190	296	117	278	38	24	24	9	114	9	821
	100.0%	51.2%	2.0%	0.8%	0.5%	1.5%	0.8%	1.5%	15.8%	1.1%	4.0%	11.1%	17.3%	6.8%	16.2%	2.2%	1.4%	1.4%	0.5%	6.7%	0.5%	47.9%
自立援助ホーム	958	487	24	3	3	3	2	2	111	7	77	79	162	17	141	3	3	3	1	85	15	463
	100.0%	50.8%	2.5%	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	11.6%	0.7%	8.0%	8.2%	16.9%	1.8%	14.7%	0.3%	0.3%	0.3%	0.1%	8.9%	1.6%	48.3%

注) * は、調査項目としていない。

「心身の状況」の構成割合は、総数に対する割合であり、複数回答のため100%を超える場合がある。

7 罹患傾向（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

罹患傾向については、「罹患傾向あり」が里親で14.4%（前回14.5%）、児童養護施設で18.8%（前回18.6%）、児童心理治療施設で17.0%（前回18.8%）、児童自立支援施設で16.1%（前回16.6%）、乳児院で54.3%（前回59.8%）、母子生活支援施設で28.9%（前回27.4%）、ファミリーホームで26.0%（前回26.6%）、自立援助ホームで30.5%（前回29.9%）となっている。

表7 罹患傾向別児童数

	総数	ほとんど病気をしない	罹患傾向あり	罹患状況内訳（複数回答）					
				ひきつけたことがある	下痢をしやすい	よく熱をだす	風邪をひきやすい	湿疹が出やすい	その他
里親	6,057 100.0%	5,151 85.0%	872 14.4%	53 0.9%	57 0.9%	100 1.7%	205 3.4%	153 2.5%	412 6.8%
児童養護施設	23,043 100.0%	18,530 80.4%	4,323 18.8%	196 0.9%	380 1.6%	499 2.2%	977 4.2%	1,018 4.4%	1,966 8.5%
児童心理治療施設	1,334 100.0%	1,092 81.9%	227 17.0%	10 0.7%	17 1.3%	14 1.0%	13 1.0%	95 7.1%	102 7.6%
児童自立支援施設	1,135 100.0%	934 82.3%	183 16.1%	4 0.4%	28 2.5%	33 2.9%	17 1.5%	43 3.8%	88 7.8%
乳児院	2,404 100.0%	1,077 44.8%	1,305 54.3%	128 5.3%	115 4.8%	268 11.1%	575 23.9%	508 21.1%	363 15.1%
母子生活支援施設	4,538 100.0%	3,191 70.3%	1,312 28.9%	71 1.6%	137 3.0%	273 6.0%	618 13.6%	201 4.4%	425 9.4%
ファミリーホーム	1,713 100.0%	1,257 73.4%	445 26.0%	24 1.4%	67 3.9%	56 3.3%	123 7.2%	112 6.5%	185 10.8%
自立援助ホーム	958 100.0%	662 69.1%	292 30.5%	4 0.4%	65 6.8%	47 4.9%	62 6.5%	58 6.1%	120 12.5%

注)「罹患状況内訳」の構成割合は、総数に対する割合であり、複数回答のため100%を超える場合がある。

8 特に支援上留意している点（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

特に支援上留意している点については、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、ファミリーホーム及び自立援助ホームでは「精神的・情緒的な安定」が最も高く、その割合はそれぞれ62.7%（前回60.2%）、78.0%（前回72.3%）、71.0%（前回64.6%）、61.6%（前回57.4%）、58.4%（前回57.1%）となっているが、里親では「里親との関係」、母子生活支援施設では「家族との関係」が最も高く、その割合はそれぞれ46.3%（前回38.7%）、52.5%（前回53.1%）となっている。

表8 特に支援上留意している点別児童数

	総数	特に留意している点あり	留意点（複数回答）																			特にない	
			精神的・情緒的な安定	友人との関係	職員（里親・養育者）との関係	家族との関係	学習への興味・関心	思いやり	基本的な生活習慣	将来設計	男女交際	自主性・積極性	自己表現力	文化的背景	経済観念	医療的対応	心理的対応	社会規範	就職及び就業の安定	行動上の問題	発達支援		その他
里親	6,057	5,243	2,649	868	2,806	2,026	852	308	1,634	891	137	364	525	73	257	454	558	270	214	579	939	87	800
	100.0%	86.6%	43.7%	14.3%	46.3%	33.4%	14.1%	5.1%	27.0%	14.7%	2.3%	6.0%	8.7%	1.2%	4.2%	7.5%	9.2%	4.5%	3.5%	9.6%	15.5%	1.4%	13.2%
児童養護施設	23,043	22,526	14,452	9,719	9,708	13,947	7,901	5,632	11,236	4,883	2,282	4,726	8,115	342	2,646	3,465	5,928	4,003	1,538	5,032	3,890	239	478
	100.0%	97.8%	62.7%	42.2%	42.1%	60.5%	34.3%	24.4%	48.8%	21.2%	9.9%	20.5%	35.2%	1.5%	11.5%	15.0%	25.7%	17.4%	6.7%	21.8%	16.9%	1.0%	2.1%
児童心理治療施設	1,334	1,331	1,041	852	778	966	380	286	657	212	131	411	700	46	88	452	820	410	41	657	447	23	3
	100.0%	99.8%	78.0%	63.9%	58.3%	72.4%	28.5%	21.4%	49.3%	15.9%	9.8%	30.8%	52.5%	3.4%	6.6%	33.9%	61.5%	30.7%	3.1%	49.3%	33.5%	1.7%	0.2%
児童自立支援施設	1,135	1,134	806	653	601	793	380	352	501	183	181	261	520	26	49	314	398	578	41	652	222	22	1
	100.0%	99.9%	71.0%	57.5%	53.0%	69.9%	33.5%	31.0%	44.1%	16.1%	15.9%	23.0%	45.8%	2.3%	4.3%	27.7%	35.1%	50.9%	3.6%	57.4%	19.6%	1.9%	0.1%
母子生活支援施設	4,538	3,949	2,282	1,294	1,135	2,381	1,113	617	1,529	295	83	589	992	124	113	336	895	438	61	641	851	96	570
	100.0%	87.0%	50.3%	28.5%	25.0%	52.5%	24.5%	13.6%	33.7%	6.5%	1.8%	13.0%	21.9%	2.7%	2.5%	7.4%	19.7%	9.7%	1.3%	14.1%	18.8%	2.1%	12.6%
ファミリーホーム	1,713	1,645	1,055	634	614	662	728	585	1,053	510	198	470	525	59	364	293	388	353	164	423	400	20	67
	100.0%	96.0%	61.6%	37.0%	35.8%	38.6%	42.5%	34.2%	61.5%	29.8%	11.6%	27.4%	30.6%	3.4%	21.2%	17.1%	22.7%	20.6%	9.6%	24.7%	23.4%	1.2%	3.9%
自立援助ホーム	958	937	559	279	314	385	229	116	405	487	258	202	223	34	454	190	264	217	442	236	109	16	19
	100.0%	97.8%	58.4%	29.1%	32.8%	40.2%	23.9%	12.1%	42.3%	50.8%	26.9%	21.1%	23.3%	3.5%	47.4%	19.8%	27.6%	22.7%	46.1%	24.6%	11.4%	1.7%	2.0%

注)「留意点」の構成割合は、総数に対する割合であり、複数回答のため100%を超える場合がある。

9 学業の状況（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設、ファミリーホーム）

学業の状況については、里親、児童養護施設、母子生活支援施設及びファミリーホームでは「特に問題なし」が最も高く、その割合はそれぞれ64.3%（前回63.1%）、56.2%（前回56.4%）、48.0%（前回58.1%）、49.5%（前回48.7%）となっているが、児童心理治療施設、児童自立支援施設では「遅れがある」が最も高く、その割合はそれぞれ50.5%（前回57.4%）、47.9%（前回44.5%）となっている。

表9 学業の状況別児童数

	総数	すぐれている	特に問題なし	遅れがある
里親	4,091 100.0%	320 7.8%	2,631 64.3%	1,113 27.2%
児童養護施設	19,838 100.0%	1,217 6.1%	11,148 56.2%	7,429 37.4%
児童心理治療施設	1,317 100.0%	50 3.8%	600 45.6%	665 50.5%
児童自立支援施設	1,135 100.0%	70 6.2%	520 45.8%	544 47.9%
母子生活支援施設	2,473 100.0%	137 5.5%	1,188 48.0%	1,115 45.1%
ファミリーホーム	1,443 100.0%	114 7.9%	714 49.5%	594 41.2%

注)就学前は、調査対象外。

10 通学状況（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、母子生活支援施設、ファミリーホーム）

通学状況については、すべての対象において「普通に通学」が最も多く、その割合は、それぞれ里親では89.8%（前回87.9%）、児童養護施設では90.5%（前回93.4%）、児童心理治療施設では87.5%（前回89.1%）、母子生活支援施設では75.7%（前回84.4%）、ファミリーホームでは87.2%（前回87.3%）となっている。

表10 通学状況別児童数

	総数	普通に通学	欠席しがち
里親	4,091 100.0%	3,673 89.8%	375 9.2%
児童養護施設	19,838 100.0%	17,948 90.5%	1,756 8.9%
児童心理治療施設	1,317 100.0%	1,153 87.5%	160 12.1%
母子生活支援施設	2,473 100.0%	1,872 75.7%	528 21.4%
ファミリーホーム	1,443 100.0%	1,258 87.2%	150 10.4%

注)就学前は、調査対象外。

II 委託（入所）時の家庭の状況

1 養護問題発生理由（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

養護問題発生理由については、里親では「母の精神疾患等」が14.8%（前回12.5%）、児童養護施設では「母の放任・怠だ」が16.4%（前回15.0%）、児童心理治療施設及び児童自立支援施設では「児童の問題による監護困難」がそれぞれ34.7%（前回38.6%）、64.3%（前回68.2%）、乳児院では「母の精神疾患等」が24.6%（前回23.2%）、ファミリーホームでは「養育拒否」が13.5%（前回13.5%）、自立援助ホームでは「父の虐待・酷使」が17.8%（前回14.4%）が最も高くなっている。

表11 養護問題発生理由別児童数（主な理由）

	児童数							構成割合(%)						
	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム
総数	6,057	23,043	1,334	1,135	2,404	1,713	958	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
父の死亡	112	93	2	1	1	18	6	1.8%	0.4%	0.1%	0.1%	0.0%	1.1%	0.6%
母の死亡	555	417	13	4	40	61	18	9.2%	1.8%	1.0%	0.4%	1.7%	3.6%	1.9%
父の行方不明	51	42	0	0	0	5	4	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.4%
母の行方不明	298	400	3	6	23	45	16	4.9%	1.7%	0.2%	0.5%	1.0%	2.6%	1.7%
父母の離婚	54	258	4	9	22	33	9	0.9%	1.1%	0.3%	0.8%	0.9%	1.9%	0.9%
両親の未婚	*	*	*	*	53	*	*	*	*	*	*	2.2%	*	*
父母の不和	61	244	7	7	48	4	3	1.0%	1.1%	0.5%	0.6%	2.0%	0.2%	0.3%
父の拘禁	33	211	3	2	14	15	4	0.5%	0.9%	0.2%	0.2%	0.6%	0.9%	0.4%
母の拘禁	154	684	20	1	67	47	6	2.5%	3.0%	1.5%	0.1%	2.8%	2.7%	0.6%
父の入院	22	80	2	0	2	7	0	0.4%	0.3%	0.1%	0.0%	0.1%	0.4%	0.0%
母の入院	95	447	1	1	26	31	2	1.6%	1.9%	0.1%	0.1%	1.1%	1.8%	0.2%
家族の疾病の付き添い	5	29	0	2	2	4	0	0.1%	0.1%	0.0%	0.2%	0.1%	0.2%	0.0%
次子出産	10	51	0	2	4	4	1	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%
父の就労	47	310	3	1	12	15	1	0.8%	1.3%	0.2%	0.1%	0.5%	0.9%	0.1%
母の就労	69	330	1	5	83	31	2	1.1%	1.4%	0.1%	0.4%	3.5%	1.8%	0.2%
父の精神疾患等	46	181	1	2	12	6	5	0.8%	0.8%	0.1%	0.2%	0.5%	0.4%	0.5%
母の精神疾患等	899	3,337	89	46	592	225	66	14.8%	14.5%	6.7%	4.1%	24.6%	13.1%	6.9%
父の放任・怠だ	92	504	15	7	33	29	13	1.5%	2.2%	1.1%	0.6%	1.4%	1.7%	1.4%
母の放任・怠だ	853	3,774	133	58	359	212	59	14.1%	16.4%	10.0%	5.1%	14.9%	12.4%	6.2%
父の虐待・酷使	319	2,872	199	82	77	166	171	5.3%	12.5%	14.9%	7.2%	3.2%	9.7%	17.8%
母の虐待・酷使	490	3,446	206	79	194	168	149	8.1%	15.0%	15.4%	7.0%	8.1%	9.8%	15.6%
棄児	29	60	2	1	9	18	8	0.5%	0.3%	0.1%	0.1%	0.4%	1.1%	0.8%
養育拒否	824	1,084	47	27	143	231	117	13.6%	4.7%	3.5%	2.4%	5.9%	13.5%	12.2%
破産等の経済的理由	351	881	6	4	148	40	19	5.8%	3.8%	0.4%	0.4%	6.2%	2.3%	2.0%
児童の問題による監護困難	90	893	463	730	4	73	145	1.5%	3.9%	34.7%	64.3%	0.2%	4.3%	15.1%
児童の障害	21	59	23	17	24	19	9	0.3%	0.3%	1.7%	1.5%	1.0%	1.1%	0.9%
その他	435	2,080	63	28	399	151	92	7.2%	9.0%	4.7%	2.5%	16.6%	8.8%	9.6%

注) *は、調査項目としていない。

2 被虐待経験の有無、虐待の種類（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、母子生活支援施設、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

「虐待経験あり」の割合は、里親で46.0%（前回38.4%）、児童養護施設で71.7%（前回65.6%）、児童心理治療施設で83.5%（前回78.1%）、児童自立支援施設で73.0%（前回64.5%）、乳児院で50.5%（前回40.9%）、母子生活支援施設で65.2%（前回57.7%）、ファミリーホームで56.8%（前回53.0%）、自立援助ホームで77.7%（前回71.6%）となっている。

また、「虐待経験あり」のうち「虐待経験の種類」については、里親、児童養護施設、乳児院及びファミリーホームでは「ネグレクト」が最も高く、その割合は65.0%（前回65.8%）、61.2%（前回63.0%）、67.4%（前回66.1%）、65.4%（前回62.3%）となっている。児童心理治療施設及び児童自立支援施設では「身体的虐待」が最も高く、その割合は68.3%（前回66.9%）、66.4%（前回64.7%）となっている。母子生活支援施設及び自立援助ホームでは「心理的虐待」が最も高く、その割合は80.5%（前回80.9%）、58.7%（前回55.1%）となっている。

表12 被虐待経験の有無及び虐待の種類

	総数	虐待経験 あり	虐待経験の種類(複数回答)				虐待経験 なし	不明
			身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	心理的虐待		
里親	6,057 100.0%	2,789 46.0%	851 30.5%	100 3.6%	1,812 65.0%	730 26.2%	2,996 49.5%	239 3.9%
児童養護施設	23,043 100.0%	16,519 71.7%	7,010 42.4%	854 5.2%	10,114 61.2%	5,468 33.1%	5,766 25.0%	682 3.0%
児童心理治療施設	1,334 100.0%	1,114 83.5%	761 68.3%	91 8.2%	508 45.6%	544 48.8%	194 14.5%	20 1.5%
児童自立支援施設	1,135 100.0%	828 73.0%	550 66.4%	49 5.9%	344 41.5%	389 47.0%	262 23.1%	42 3.7%
乳児院	2,404 100.0%	1,213 50.5%	286 23.6%	1 0.1%	818 67.4%	247 20.4%	1,152 47.9%	30 1.2%
母子生活支援施設	4,538 100.0%	2,961 65.2%	845 28.5%	134 4.5%	565 19.1%	2,385 80.5%	1,334 29.4%	205 4.5%
ファミリーホーム	1,713 100.0%	973 56.8%	431 44.3%	90 9.2%	636 65.4%	373 38.3%	606 35.4%	129 7.5%
自立援助ホーム	958 100.0%	744 77.7%	402 54.0%	78 10.5%	319 42.9%	437 58.7%	141 14.7%	68 7.1%

注)「虐待経験の種類」の構成割合は、「虐待経験あり」に対する割合であり、複数回答のため100%を超える場合がある。

3 委託（入所）時の保護者の状況（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

「両親又はひとり親あり」の割合をみると、里親で86.1%（前回78.4%）、児童養護施設で95.4%（前回93.3%）、児童心理治療施設で95.1%（前回92.8%）、児童自立支援施設で95.9%（前回93.1%）、乳児院で99.1%（前回97.9%）、ファミリーホームで89.7%（前回84.3%）、自立援助ホームで89.7%（前回91.7%）となっている。

表13-1 委託（入所）時の保護者の状況別児童数

	総数	両親又は父母 のどちらかあり	両親ともい ない	両親とも不明
里親	6,057 100.0%	5,215 86.1%	708 11.7%	106 1.8%
児童養護施設	23,043 100.0%	21,990 95.4%	767 3.3%	222 1.0%
児童心理治療 施設	1,334 100.0%	1,268 95.1%	45 3.4%	13 1.0%
児童自立支援 施設	1,135 100.0%	1,088 95.9%	29 2.6%	10 0.9%
乳児院	2,404 100.0%	2,382 99.1%	10 0.4%	9 0.4%
ファミリーホーム	1,713 100.0%	1,536 89.7%	107 6.2%	51 3.0%
自立援助ホーム	958 100.0%	859 89.7%	73 7.6%	22 2.3%

そのうち、最も割合が高い保護者は、里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、ファミリーホーム及び自立援助ホームが「実母のみ」で、それぞれ62.3%（前回62.8%）、48.5%（前回48.5%）、46.0%（前回47.4%）、42.8%（前回48.7%）、52.3%（前回51.6%）、34.7%（前回40.7%）であり、乳児院が「実父母有」で52.1%（前回52.8%）となっている。

表13-2 両親又は父母のどちらかありの保護者の状況別児童数

	総数	実父母有	実父のみ	実母のみ	実父養母	養父実母	養父養母	養父のみ	養母のみ
里親	5,215 100.0%	1,160 22.2%	419 8.0%	3,248 62.3%	65 1.2%	288 5.5%	10 0.2%	17 0.3%	7 0.1%
児童養護施設	21,990 100.0%	5,983 27.2%	1,944 11.0%	10,855 48.5%	514 2.4%	2,484 10.4%	49 0.2%	65 0.4%	64 0.3%
児童心理治療施設	1,268 100.0%	310 24.4%	89 7.0%	583 46.0%	47 3.7%	217 17.1%	3 0.2%	8 0.6%	8 0.6%
児童自立支援施設	1,088 100.0%	325 29.9%	75 6.9%	466 42.8%	33 3.0%	171 15.7%	7 0.6%	3 0.3%	4 0.4%
乳児院	2,382 100.0%	1,241 52.1%	58 2.4%	1,039 43.6%	1 0.0%	42 1.8%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ファミリーホーム	1,536 100.0%	384 25.0%	148 9.6%	803 52.3%	35 2.3%	157 10.2%	5 0.3%	3 0.2%	0 0.0%
自立援助ホーム	859 100.0%	256 29.8%	92 10.7%	298 34.7%	32 3.7%	164 19.1%	3 0.3%	7 0.8%	5 0.6%

注)横軸は、保護者の状況。

そのうち、「両親ともいない」・「両親とも不明」の割合をみると、乳児院を除く対象において、「祖父母」が養育を行っている割合が高くなっている。

表13-3 両親ともいない・不明の保護者の状況別児童数

	総数	祖父母	養父母の親	兄・姉	義兄義姉	伯(叔)父母	義伯(叔)父母	里親	その他	なし	不明
里親	814 100.0%	448 55.0%	2 0.2%	33 4.1%	3 0.4%	107 13.1%	6 0.7%	25 3.1%	90 11.1%	75 9.2%	25 3.1%
児童養護施設	989 100.0%	143 14.5%	11 1.1%	35 3.5%	3 0.3%	45 4.6%	2 0.2%	16 1.6%	26 2.6%	708 71.6%	0 0.0%
児童心理治療施設	58 100.0%	21 36.2%	2 3.4%	3 5.2%	0 0.0%	8 13.8%	1 1.7%	8 13.8%	4 6.9%	7 12.1%	1 1.7%
児童自立支援施設	39 100.0%	11 28.2%	0 0.0%	5 12.8%	1 2.6%	5 12.8%	0 0.0%	4 10.3%	7 17.9%	4 10.3%	2 5.1%
乳児院	19 100.0%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	4 21.1%	3 15.8%	0 0.0%	7 36.8%
ファミリーホーム	158 100.0%	48 30.4%	0 0.0%	8 5.1%	1 0.6%	14 8.9%	1 0.6%	26 16.5%	13 8.2%	33 20.9%	14 8.9%
自立援助ホーム	95 100.0%	24 25.3%	1 1.1%	8 8.4%	1 1.1%	6 6.3%	1 1.1%	9 9.5%	11 11.6%	22 23.2%	12 12.6%

注)横軸は、保護者の状況。

Ⅲ 家族との関係（里親、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム）

1 家族との交流関係

家族との交流関係については、「交流なし」の割合が、里親で63.9%（前回70.3%）、児童養護施設で24.9%（前回19.9%）、児童心理治療施設で21.2%（前回15.9%）、児童自立支援施設で16.1%（前回13.7%）、乳児院で26.0%（前回21.5%）、ファミリーホームで42.2%（前回36.9%）、自立援助ホームで49.3%（前回47.4%）となっている。

「交流あり」のうち「面会」の割合が比較的高く、児童養護施設で35.4%（前回28.8%）、児童心理治療施設で37.6%（前回32.8%）、児童自立支援施設で40.3%（前回31.2%）、乳児院では59.5%（前回55.3%）、ファミリーホームで35.6%（前回28.8%）、自立援助ホームで17.4%（前回11.7%）となっている。

表14-1 家族との交流関係別児童数

	総数	交流あり			交流なし
		電話・メール・手紙	面会	一時帰宅	
里親	6,057 100.0%	351 5.8%	1,447 23.9%	346 5.7%	3,870 63.9%
児童養護施設	23,043 100.0%	2,537 11.0%	8,159 35.4%	6,499 28.2%	5,740 24.9%
児童心理治療施設	1,334 100.0%	120 9.0%	502 37.6%	423 31.7%	283 21.2%
児童自立支援施設	1,135 100.0%	67 5.9%	457 40.3%	422 37.2%	183 16.1%
乳児院	2,404 100.0%	155 6.4%	1,430 59.5%	188 7.8%	625 26.0%
ファミリーホーム	1,713 100.0%	129 7.5%	610 35.6%	239 14.0%	723 42.2%
自立援助ホーム	958 100.0%	194 20.3%	167 17.4%	121 12.6%	472 49.3%

注)「交流あり」の構成割合は、総数に対する割合である。

家族との交流頻度については、「電話・メール・手紙」において「年2回～11回」が高く、里親で54.4%（前回52.0%）、児童養護施設で59.8%（前回58.7%）、児童心理治療施設で60.8%（前回60.5%）、児童自立支援施設で67.2%（前回51.6%）、乳児院で47.1%（前回56.9%）、ファミリーホームで55.0%（前回53.1%）、自立援助ホームで52.6%（前回48.3%）となっている。

また、「面会」において「月1回以上」の割合が高いのは、乳児院で55.7%（前回57.4%）となっている。「年2回～11回」の割合が高いのは、里親62.2%（前回60.4%）、児童養護施設66.2%（前回64.3%）、児童心理治療施設67.9%（前回66.4%）、児童自立支援施設60.2%（前回54.6%）、ファミリーホーム58.2%（前回60.9%）、自立援助ホーム58.1%（前回56.9%）となっている。

さらに、「一時帰宅」において「月1回以上」の割合が高いのは、乳児院で88.8%（前回81.4%）となっている。「年2回～11回」の割合が高いのは、里親56.4%（前回49.6%）、児童養護施設60.6%（前回65.2%）、児童心理治療施設52.5%（前回55.0%）、児童自立支援施設59.2%（前回60.9%）、ファミリーホーム51.9%（前回50.0%）、自立援助ホーム56.2%（前回60.7%）となっている。

表14-2 家族との交流頻度別児童数

	児童数							構成割合(%)						
	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム	里親	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	乳児院	ファミリーホーム	自立援助ホーム
【電話・メール・手紙】														
総数	351	2,537	120	67	155	129	194	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
月1回以上	37	478	25	11	66	13	59	10.5%	18.8%	20.8%	16.4%	42.6%	10.1%	30.4%
年2回～11回	191	1,518	73	45	73	71	102	54.4%	59.8%	60.8%	67.2%	47.1%	55.0%	52.6%
年1回ぐらい	123	534	20	10	13	43	31	35.0%	21.0%	16.7%	14.9%	8.4%	33.3%	16.0%
【面会】														
総数	1,447	8,159	502	457	1,430	610	167	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
月1回以上	260	1,781	101	151	796	137	42	18.0%	21.8%	20.1%	33.0%	55.7%	22.5%	25.1%
年2回～11回	900	5,405	341	275	555	355	97	62.2%	66.2%	67.9%	60.2%	38.8%	58.2%	58.1%
年1回ぐらい	287	956	58	31	78	118	25	19.8%	11.7%	11.6%	6.8%	5.5%	19.3%	15.0%
【一時帰宅】														
総数	346	6,499	423	422	188	239	121	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
月1回以上	131	2,223	191	158	167	87	45	37.9%	34.2%	45.2%	37.4%	88.8%	36.4%	37.2%
年2回～11回	195	3,941	222	250	19	124	68	56.4%	60.6%	52.5%	59.2%	10.1%	51.9%	56.2%
年1回ぐらい	20	318	10	14	2	27	8	5.8%	4.9%	2.4%	3.3%	1.1%	11.3%	6.6%

2 今後の見通し

今後の見通しについては、里親では「自立まで現在の里親家庭で養育」が67.4%（前回68.7%）、児童養護施設では「自立まで現在の児童養護施設で養育」が59.9%（前回58.3%）、児童心理治療施設では「保護者のもとへ復帰」が37.3%（前回37.2%）、児童自立支援施設では「保護者のもとへ復帰」が49.9%（前回56.9%）、ファミリーホームでは「自立まで現在のファミリーホームで養育」が70.7%（前回68.7%）、自立援助ホームでは「自立まで現在の自立援助ホームで養育」が80.5%（前回79.4%）が最も高くなっている。

また、乳児院では「現在の乳児院で養育」が36.2%（前回35.5%）と最も高くなっている。

表15-1 児童の今後の見通し別児童数（乳児院を除く）

	総数	保護者のもとへ復帰	親類等の家庭への引き取り	自立まで現在のままで養育	養子縁組	里親・ファミリーホーム委託	他施設へ移行予定	現在のままで養育困難	その他
里親	6,057 100.0%	712 11.8%	51 0.8%	4,081 67.4%	610 10.1%	2 0.0%	96 1.6%	173 2.9%	306 5.1%
児童養護施設	23,043 100.0%	6,009 26.1%	250 1.1%	13,814 59.9%	28 0.1%	430 1.9%	435 1.9%	950 4.1%	1,029 4.5%
児童心理治療施設	1,334 100.0%	498 37.3%	19 1.4%	267 20.0%	1 0.1%	30 2.2%	367 27.5%	55 4.1%	87 6.5%
児童自立支援施設	1,135 100.0%	566 49.9%	15 1.3%	42 3.7%	0 0.0%	47 4.1%	325 28.6%	28 2.5%	104 9.2%
ファミリーホーム	1,713 100.0%	310 18.1%	18 1.1%	1,211 70.7%	13 0.8%	10 0.6%	30 1.8%	33 1.9%	76 4.4%
自立援助ホーム	958 100.0%	38 4.0%	5 0.5%	771 80.5%	*	2 0.2%	45 4.7%	14 1.5%	76 7.9%

注）*は、調査項目としていない。

表15-2 児童の今後の見通し別児童数（乳児院）

	総数	保護者のもとへ復帰	親類等の家庭への引き取り	現在の乳児院で養育	児童養護施設へ	母子生活支援施設へ	養子縁組	里親・ファミリーホーム委託	障害児入所施設へ移行予定	他施設へ移行予定	その他
乳児院	2,404 100.0%	543 22.6%	28 1.2%	871 36.2%	388 16.1%	2 0.1%	98 4.1%	264 11.0%	60 2.5%	13 0.5%	131 5.4%

IV 里親家庭の状況

1 里親申込みの動機

現に委託されている里親家庭の総数は4,815世帯となっており、前回調査の4,216世帯より599世帯（14.2%）増加している。

里親申込みの動機別については、「児童福祉への理解から」が49.7%（前回41.7%）、「子どもを育てたいから」が26.1%（前回30.8%）、「養子を得たいため」が11.7%（前回10.7%）となっている。

表16 里親申込みの動機別里親家庭数

総数	児童福祉への理解から	子どもを育てたいから	養子を得たいため	その他
4,815	2,395	1,258	563	556
100.00%	49.7%	26.1%	11.7%	11.5%

2 登録期間

児童が委託されている里親家庭の登録期間については、「5年未満」が43.9%（前回43.8%）と最も高く、登録期間が長くなるに従い低くなっている。

表17 登録期間別里親家庭数

総数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年以上
4,815	2,114	1,306	809	574
100.00%	43.9%	27.1%	16.8%	11.9%

3 委託児童数

委託されている里親家庭の児童数については、「1人」が78.7%（前回75.9%）と最も高く、次いで「2人」が16.5%（前回18.6%）となっている。

表18 委託児童別里親家庭数

総数	1人	2人	3人	4人
4,815	3,789	793	174	33
100.00%	78.7%	16.5%	3.6%	0.7%

4 里親の年齢

里父の年齢については、「60歳以上」が28.8%（前回31.9%）、「50歳代」が29.3%（前回27.0%）、里母の年齢は、「60歳以上」が27.7%（前回29.7%）、「50歳代」が36.0%（前回32.6%）となっている。

表19 里親の年齢別里親家庭数

	総数	里親の年齢					いない
		30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
里父	4,815	12	240	1,070	1,412	1,388	678
	100.0%	0.2%	5.0%	22.2%	29.3%	28.8%	14.1%
里母	4,815	31	257	1,342	1,735	1,334	101
	100.0%	0.6%	5.3%	27.9%	36.0%	27.7%	2.1%

注) 「里親の年齢」の構成割合は、総数に対する割合である。

5 里親の仕事の種類

里父の仕事の種類については、「専門・技術」が16.3%（前回16.0%）と最も高く、里母は「就業していない」が37.6%（前回44.4%）となっている。

表20 仕事の種類別里親家庭数

	総数	里親の仕事の種類											いない	
		社会福祉事業 従事者	宗教家	教員	専門・技術	管理	事務	販売	農林・漁業	単純労働	サービス	その他の 就業者		就業して いない
里父	4,815	247	465	140	784	189	595	197	127	254	327	413	374	678
	100.0%	5.1%	9.7%	2.9%	16.3%	3.9%	12.4%	4.1%	2.6%	5.3%	6.8%	8.6%	7.8%	14.1%
里母	4,815	476	309	124	366	58	443	133	69	44	361	494	1,812	101
	100.0%	9.9%	6.4%	2.6%	7.6%	1.2%	9.2%	2.8%	1.4%	0.9%	7.5%	10.3%	37.6%	2.1%

注) 「里親の仕事の種類」の構成割合は、総数に対する割合である。

6 里親家庭の年間所得

令和4年の年間所得については、里親家庭の平均が601万1千円、一般家庭が545万7千円となっている。

表21 年間所得(税込)

	平均所得金額
里親家庭	601.1万円
一般家庭	545.7万円

注) 一般家庭は「令和4年国民生活基礎調査」

7 里親家庭の住宅所有状況

里親家庭の住宅所有状況は、「自家・一戸建て」が70.4%（前回72.0%）と多くを占めており、次いで「借家・集合住宅」が11.3%（前回10.4%）、「自家・集合住宅」が9.4%（前回9.2%）、「借家・一戸建て」が5.4%（前回6.0%）となっている。

表22 住宅の所有状況別里親家庭数

総数	自家		借家		その他	不明
	一戸建て	集合住宅	一戸建て	集合住宅		
4,815	3,392	454	261	546	78	35
100.0%	70.4%	9.4%	5.4%	11.3%	1.6%	0.7%

注) 構成割合は、総数に対する割合である。

V 母子生活支援施設入所世帯（母親）の状況

1 児童数

母子生活支援施設入所世帯数は2,780世帯となっており、前回調査の3,216世帯より436世帯（13.6%）減少している。

母子生活支援施設入所世帯の児童数別については、「1人」が55.6%（前回56.0%）と最も高く、次いで「2人」が27.9%（前回29.0%）となっている。

表23 児童数別母子生活支援施設入所世帯数

総数	1人	2人	3人	4人	5人以上
2,780	1,547	775	290	100	41
100.0%	55.6%	27.9%	10.4%	3.6%	1.5%

2 入所理由及び在所期間

(1) 入所理由

母子生活支援施設への入所理由については、「配偶者からの暴力」が50.3%（前回50.7%）で最も高く、次いで「住宅事情による」が15.8%（前回16.4%）、「経済的理由による」が10.6%（前回12.8%）となっている。

表24 入所理由別母子生活支援施設入所世帯数

総数	母親の心身の不安定による	職業上の理由による	住宅事情による	経済的理由による	配偶者からの暴力	不適切な家庭内環境	その他
2,780	126	3	438	296	1,399	238	162
100.0%	4.5%	0.1%	15.8%	10.6%	50.3%	8.6%	5.8%

(2) 在所期間

母子生活支援施設へ入所してからの期間については、「5年未満」が84.2%（前回87.1%）で最も高く、「5年未満」の中でも「1年未満」が29.4%（前回33.1%）、「1年」が23.1%（前回23.9%）となっている。

表25 在所期間別母子生活支援施設入所世帯数

総数	5年未満	1年未満	1年	2年	3年	4年	5年～9年	10年以上
2,780	2,340	817	643	417	277	186	326	79
100.0%	84.2%	29.4%	23.1%	15.0%	10.0%	6.7%	11.7%	2.8%

注) 構成割合は、総数に対する割合である。

3 入所時の年齢

母子生活支援施設入所世帯の入所時の母親の年齢については、30歳代が41.6%（前回44.2%）と最も高く、次いで20歳代が30.4%（前回29.5%）、40歳代が22.6%（前回21.2%）となっている。

表26 入所時の年齢別母子生活支援施設入所世帯数

総数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上
2,780	40	346	498	559	597	402	226	76
100.0%	1.4%	12.4%	17.9%	20.1%	21.5%	14.5%	8.1%	2.7%

4 母子世帯になった理由

母子世帯になった理由については、「離婚」が56.1%（前回56.9%）と最も高く、次いで「未婚の母」が17.0%（前回16.0%）となっている。

表27 母子世帯になった理由別母子生活支援施設入所世帯数

総数	死別			離婚	遺棄	生死不明	未婚の母	その他
	病死	交通事故死	その他					
2,780	12	1	13	1,560	56	3	472	612
100.0%	0.4%	0.0%	0.5%	56.1%	2.0%	0.1%	17.0%	22.0%

5 公営住宅入居希望の有無及び現在の状況

(1) 公営住宅入居希望

公営住宅入居希望については、母子生活支援施設入所世帯の36.1%（前回41.7%）となっている。

表28 公営住宅入居希望の有無別
母子生活支援施設入所世帯数

総数	あり	なし	わからない
2,780	1,004	716	1,027
100.0%	36.1%	25.8%	36.9%

(2) 現在の状況

現在の状況については、「1年以内に退所の見込み」が16.7%（前回17.4%）、「適当な住居さえあれば退所できる」が12.4%（前回14.9%）、「3か月以内に退所の見込み」が11.3%（前回11.5%）、「末子が18歳になるまで退所困難」が10.8%（前回10.2%）となっている。

表29 現在の状況別母子生活支援施設入所世帯数

総数	3か月以内に退所の見込み	1年以内に退所の見込み	適当な住居さえあれば退所できる	末子が18歳になるまで退所困難	その他
2,780	313	465	345	300	1,322
100.0%	11.3%	16.7%	12.4%	10.8%	47.6%

6 従業上の地位及び仕事の種類

(1) 従業上の地位

母子生活支援施設の入所世帯の母親の59.6%（前回67.0%）は就業している。就業している母親では、「臨時・日雇・パート」が40.1%（前回46.0%）と最も高く、「常用勤労者」が13.8%（前回16.5%）となっている。また「不就業」については、39.2%（前回32.2%）となっている。

表30-1 従業上の地位別母子生活支援施設入所世帯数

総数	事業主	常用勤労者	臨時・日雇・パート	その他の就業	不就業	不明
2,780	11	384	1,116	146	1,089	9
100.0%	0.4%	13.8%	40.1%	5.3%	39.2%	0.3%

そのうち、不就業の理由については、「精神的・身体的障害がある」が27.8%（前回22.6%）と最も高く、次いで「疾病・虚弱である」が15.0%（前回14.0%）、「条件にあった求人なし」が13.0%（前回17.6%）となっている。

表30-2 不就業の理由別母子生活支援施設入所世帯数

総数	講習等で就業準備中	保育が確保できない	乳児がいる	条件にあった求人なし	就労習慣がない	就労意欲が乏しい	疾病・虚弱である	精神的・身体的障害がある	児童に障害・疾病がある
1,089	117	76	53	142	31	92	163	303	50
100.0%	10.7%	7.0%	4.9%	13.0%	2.8%	8.4%	15.0%	27.8%	4.6%

(2) 仕事の種類

就業している母親の仕事の種類については、「サービス業従事者」が29.3%（前回29.1%）と最も高く、次いで「専門・技術従事者」が17.4%（前回15.4%）となっている。

表31 仕事の種類別母子生活支援施設入所世帯数

総数	専門・技術	管理	事務	販売	農林・漁業	運輸・通信	技能・生産等	保安職業	サービス	その他 就業者
1,657	288	5	247	142	5	15	161	2	485	276
100.0%	17.4%	0.3%	14.9%	8.6%	0.3%	0.9%	9.7%	0.1%	29.3%	16.7%

注)総数は、「従業上の地位」が事業主、常用勤労者、臨時・日雇・パート及びその他の就業である世帯数

7 転職希望の有無

就業している母親のうち、転職を希望する母親は21.4%（前回26.0%）、転職希望のない母親は57.3%（前回55.9%）となっている。

表32 転職希望の有無別母子生活支援施設入所世帯数

総数	あり	なし	わからない
1,657	354	949	357
100.0%	21.4%	57.3%	21.5%

注)総数は、「従業上の地位」が事業主、常用勤労者、臨時・日雇・パート及びその他の就業である世帯数

8 年間所得

母子生活支援施設入所世帯の令和4年の年間所得分布については、「平均所得金額」として165万円（前回192万6千円）となっており、一般家庭の545万7千円（令和4年国民生活基礎調査）の3割程度に止まっている。

表33 年間所得別母子生活支援施設入所世帯数

総数	100万円未満	100～199万円	200～299万円	300～399万円	400万円以上	平均所得金額
2,780	477	770	621	135	22	165.0万円
100.0%	17.2%	27.7%	22.3%	4.9%	0.8%	

注)「平均所得金額」は総数から不祥を除いて算出。

VI 児童養護施設の年長児童の状況

1 年長児童の就学状況

今回の調査に回答した児童養護施設の中学3年生以上の年長児童は、7,738人であった。

そのうち男子は3,714人、女子は3,419人となっている。

就学状況別の年長児童数については、「中学3年生」は1,943人（25.1%）、「高校生」（通信制を含む）は5,225人（67.5%）、「大学・短期大学」は78人（1.0%）となっている。

表34 児童養護施設の年長児童の就学状況

	総数	中3	中学卒	高1	高2	高3	高4(定時制)	通信制	高校卒	大・短大	専修学	公職訓	その他
総数	7,738 100.0%	1,943 25.1%	37 0.5%	1,852 23.9%	1,643 21.2%	1,567 20.3%	21 0.3%	142 1.8%	47 0.6%	78 1.0%	71 0.9%	6 0.1%	108 1.4%
男	3,714 [100.0]	996 [26.8%]	15 [0.4%]	913 [24.6%]	803 [21.6%]	779 [21.0%]	11 [0.3%]	42 [1.1%]	26 [0.7%]	29 [0.8%]	30 [0.8%]	4 [0.1%]	44 [1.2%]
女	3,419 [100.0]	888 [26.0%]	21 [0.6%]	827 [24.2%]	745 [21.8%]	685 [20.0%]	6 [0.2%]	85 [2.5%]	17 [0.5%]	35 [1.0%]	35 [1.0%]	1 [0.0%]	49 [1.4%]

2 生活行動経験

思いやりの行動や社会的自立に関わる行動について質問（質問項目については参考を参照）した中で、「自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」が91.9%（前回91.8%）と、最も多く経験している一方で、「一人で銀行や役所（区役所・市役所・町役場等）などで手続きをしたこと」が19.7%（前回23.7%）と最も低くなっている。

就学状況別で差の大きい項目については、「一人で銀行や役所（区役所・市役所・町役場等）などで、手続きをしたこと」、「アルバイトやパートタイムの仕事をしたこと」で学年が進むに従って経験の割合が高くなっている。

いじめに関しては、「他者をいじめてしまったこと」26.3%（前回34.7%）、「いじめを受けていたこと」34.6%（前回34.7%）であった。

表35 児童養護施設の年長児童の経験状況

	実数	ア. 動物の世話をした	イ. 困っている人を助けた	ウ. 自分で決めたことをやりとげた	エ. 自分や友人と計画して旅行した	オ. 赤ちゃんの世話をした	カ. ボランティアをした	キ. 一人で銀行や役所の手続きをした	ク. 服や物を自分で選んで買った	ケ. アルバイトなどの仕事をした	コ. 他者をいじめた	サ. いじめを受けた	シ. 虐待を受けた
総数	7,738	60.5%	78.8%	79.3%	24.3%	34.3%	61.2%	19.7%	91.9%	38.8%	26.3%	34.6%	36.9%
男	3,714	58.5%	75.6%	79.9%	26.8%	27.3%	61.4%	19.7%	89.2%	35.5%	31.2%	30.0%	30.9%
女	3,419	63.1%	83.1%	80.1%	21.4%	42.6%	61.7%	18.8%	96.1%	41.0%	21.0%	40.0%	43.8%
中3	1,943	62.9%	79.8%	80.0%	22.4%	34.8%	60.1%	5.3%	93.0%	1.1%	26.9%	32.5%	34.1%
高1	1,852	59.6%	76.8%	77.4%	22.6%	34.3%	59.9%	16.0%	90.7%	34.0%	27.5%	34.1%	36.0%
高2	1,643	61.4%	79.6%	79.9%	26.0%	34.5%	63.1%	22.1%	92.5%	53.6%	25.3%	34.7%	38.2%
高3・4	1,588	59.0%	81.2%	83.7%	26.8%	34.8%	63.4%	34.4%	93.7%	65.1%	25.3%	35.3%	38.0%
大・専・職	155	58.7%	83.2%	87.1%	30.3%	28.4%	70.3%	53.5%	94.8%	85.8%	24.5%	44.5%	45.2%
その他	108	50.9%	76.9%	71.3%	22.2%	27.8%	58.3%	27.8%	91.7%	63.9%	31.5%	48.1%	41.7%

注)「高3・4」とは、高校3年生と高校4年生(定時制)を含む。以下同じ。

「大・専・職」とは、大学・短期大学の学生、専修学校・各種学校の生徒、公共職業訓練施設の訓練生を含む。以下同じ。

(参考) 表35の全質問項目一覧

「ア. 動物などの世話をしたこと」

「イ. 困っている人を助けてあげたこと」

「ウ. 自分で決めた事(スポーツや勉強など)をやりとげ、よくやったなとうれしく思うこと」

「エ. 自分や友人たちと計画して、旅行したこと」

「オ. 赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」

「カ. ボランティアをしたこと」

「キ. 一人で銀行や役所(区役所・市役所・町役場等)などで、手続きをしたこと」

「ク. 自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」

「ケ. アルバイトやパートタイムの仕事をしたこと」

「コ. 他者をいじめてしまったこと」

「サ. いじめを受けていたこと」

「シ. 虐待を受けたこと」

3 大切なこと

大切だと思うことについて、10項目（質問項目については参考を参照）の中から3つを選び回答してもらった。

最も割合が高かったことは、「健康であること」56.8%（前回 50.3%）で、次いで「友達がたくさんいること」37.3%（前回 35.8%）、「将来に夢を持っていること」34.9%（前回 37.1%）となっている。

最も割合が低かったものは、「人のいやがる事をすすんでやること」5.1%（前回 5.6%）で、次いで「勉強ができること」16.9%（前回 17.0%）、「勇気を持っていること」22.0%（20.0%）となっている。

表36 児童養護施設の年長児童の大切なこと(3つ選択)

	実数	1 勉強ができる	2 家族と仲良く生活	3 お金がたくさんある	4 友達がたくさんいる	5 健康である	6 特技がある	7 将来に夢がある	8 人のいやがることを進んでやる	9 勇気を持っている	10 安定した仕事をする
総数	7,738	16.9%	29.4%	33.3%	37.3%	56.8%	34.1%	34.9%	5.1%	22.0%	27.4%
男	3,714	17.7%	29.9%	32.6%	40.6%	55.5%	37.3%	34.0%	5.3%	20.5%	25.1%
女	3,419	16.1%	30.0%	33.8%	33.5%	59.3%	31.3%	36.4%	4.6%	24.3%	30.1%
中3	1,943	21.2%	35.2%	27.0%	38.9%	59.0%	35.9%	33.7%	4.4%	24.9%	20.8%
高1	1,852	18.3%	31.7%	34.7%	39.4%	54.7%	36.2%	33.0%	4.6%	20.7%	26.2%
高2	1,643	17.5%	27.2%	35.8%	35.8%	55.3%	34.8%	35.7%	5.2%	20.2%	29.4%
高3・4	1,588	12.1%	23.5%	35.4%	36.3%	59.3%	31.4%	38.5%	5.9%	23.0%	32.2%
大・専・職	155	11.6%	20.6%	44.5%	38.7%	61.9%	24.5%	41.3%	5.2%	15.5%	38.1%
その他	108	10.2%	25.0%	31.5%	28.7%	61.1%	29.6%	36.1%	4.6%	19.4%	39.8%

(参考) 表36の全質問項目一覧

- 「1. 勉強ができること」
- 「2. 家族と仲良く生活すること」
- 「3. お金がたくさんあること」
- 「4. 友達がたくさんいること」
- 「5. 健康であること」
- 「6. 運動や歌などで、何か得意なもの（特技）があること」
- 「7. 将来に夢を持っていること」
- 「8. 人のいやがる事をすすんでやること」
- 「9. 勇気を持っていること」
- 「10. 安定した仕事をする事」

4 高等学校（各種学校）進学希望

中学3年生の高等学校又は各種学校への進学希望については、「希望する」が87.6%（前回86.7%）、「希望しない」が3.3%（前回3.9%）、「考えていない」が7.9%（前回8.2%）となっている。

表37 児童養護施設の年長児童の高等学校（各種学校）進学希望

	実数	希望する	希望しない	考えていない
中学3年生	1,943	87.6%	3.3%	7.9%
男	996	86.5%	2.9%	9.0%
女	888	89.2%	3.8%	6.4%

5 大学（短大）進学希望

中学3年生以上の年長児童全員の大学又は短期大学への進学希望については、「希望する」が35.6%（前回31.8%）、「希望しない」が29.5%（前回32.6%）、「考えていない」が29.2%（前回29.2%）となっており、前回調査より進学希望者が増加している。

表38 児童養護施設の年長児童の大学（短大）進学希望

	実数	希望する	希望しない	考えていない
総数	7,738	35.6%	29.5%	29.2%
男	3,714	32.3%	29.6%	32.6%
女	3,419	39.4%	30.0%	26.0%
中3	1,943	41.8%	19.5%	36.1%
高1	1,852	36.7%	25.8%	33.2%
高2	1,643	34.4%	34.8%	25.6%
高3・4	1,588	31.0%	41.8%	20.7%
大・専・職	155	35.5%	14.8%	16.8%
その他	108	10.2%	41.7%	35.2%

6 将来の希望（1）－職業－

将来なりたい職業については、男子では、「スポーツ・芸能・芸術」7.4%（前回7.4%）、「会社や役所に勤める」7.2%（前回7.0%）、「工場に勤める」6.9%（前回8.5%）が上位を占め、女子では、「学校の先生や保育士・看護師など」14.7%（前回17.0%）、「飲食業・調理等」8.2%（前回9.0%）、「美容師・理容師」6.7%（前回6.2%）が上位を占めている。

表39 児童養護施設の年長児童の将来の希望（職業）

	実数	会社や役所に勤める	工場に勤める	商店・デパート等に勤める	農業・漁業・林業・酪農等	先生・保育士・看護師等	運転手・船乗り・パイロット等	美容師・理容師	飲食業・調理等	スポーツ・芸能・芸術	警察・消防・自衛官	大工・建設業	新聞記者・アナウンサー	医者・弁護士	その他	特に決めていない
総数	7,738	6.0%	4.4%	2.3%	1.8%	10.3%	1.4%	3.9%	6.7%	6.4%	2.2%	2.5%	0.1%	1.0%	19.2%	27.5%
中3	1,943	3.9%	3.0%	1.3%	1.5%	10.2%	1.2%	4.5%	6.5%	8.3%	3.3%	2.5%	-	1.6%	20.0%	30.2%
高1	1,852	5.1%	2.5%	1.7%	2.3%	10.7%	1.6%	3.8%	6.4%	5.1%	1.7%	1.9%	0.3%	0.7%	18.0%	33.0%
高2	1,643	7.1%	5.1%	3.3%	1.9%	10.2%	1.2%	4.3%	7.5%	4.9%	2.0%	2.5%	0.1%	0.6%	19.0%	26.1%
高3・4	1,588	8.6%	8.2%	3.1%	1.4%	10.1%	1.6%	3.3%	6.9%	6.7%	1.9%	3.3%	0.2%	0.9%	21.5%	18.9%
大・専・職	155	12.9%	0.6%	1.3%	3.2%	18.1%	-	2.6%	7.1%	7.7%	0.6%	0.6%	-	1.3%	21.3%	18.1%
その他	108	5.6%	2.8%	2.8%	0.9%	2.8%	-	1.9%	9.3%	7.4%	0.9%	1.9%	-	-	18.5%	42.6%
男	3,714	7.2%	6.9%	1.9%	2.7%	6.1%	2.3%	1.5%	5.7%	7.4%	3.3%	4.3%	0.1%	0.9%	14.9%	31.0%
中3	996	5.1%	5.4%	1.0%	2.4%	4.2%	2.1%	0.6%	5.2%	10.3%	4.8%	3.8%	-	1.9%	15.3%	35.3%
高1	913	6.6%	4.3%	1.6%	3.1%	7.9%	2.5%	1.8%	6.0%	5.9%	2.2%	3.4%	0.3%	0.5%	11.9%	37.7%
高2	803	8.2%	8.0%	3.0%	2.9%	6.2%	1.7%	2.0%	5.5%	5.5%	3.4%	4.2%	0.1%	0.6%	15.1%	28.9%
高3・4	790	9.1%	11.0%	2.2%	1.9%	6.3%	2.9%	1.9%	6.1%	7.2%	2.8%	6.2%	0.1%	0.5%	18.4%	19.6%
大・専・職	63	12.7%	1.6%	1.6%	7.9%	14.3%	-	3.2%	3.2%	9.5%	1.6%	1.6%	-	-	15.9%	23.8%
その他	44	6.8%	6.8%	2.3%	2.3%	2.3%	-	-	13.6%	6.8%	-	4.5%	-	-	15.9%	34.1%
女	3,419	4.9%	1.8%	3.0%	0.8%	14.7%	0.4%	6.7%	8.2%	5.2%	1.1%	0.6%	0.1%	1.1%	23.8%	24.3%
中3	888	2.5%	0.3%	1.6%	0.6%	17.0%	0.1%	8.8%	8.1%	6.1%	1.8%	1.0%	-	1.2%	25.5%	24.1%
高1	827	3.3%	0.7%	1.9%	1.5%	14.4%	0.7%	6.3%	7.3%	4.0%	1.0%	0.4%	0.2%	0.6%	24.1%	28.5%
高2	745	6.3%	2.0%	3.9%	0.8%	13.7%	0.5%	7.0%	9.5%	4.0%	0.8%	0.7%	-	0.7%	23.1%	23.2%
高3・4	691	8.2%	4.9%	4.2%	0.6%	14.5%	0.1%	4.9%	8.7%	6.1%	1.0%	0.4%	0.1%	1.4%	23.4%	18.5%
大・専・職	71	11.3%	-	1.4%	-	16.9%	-	2.8%	11.3%	8.5%	-	-	-	2.8%	26.8%	12.7%
その他	49	4.1%	-	4.1%	-	4.1%	-	2.0%	8.2%	6.1%	2.0%	-	-	-	18.4%	51.0%

7 将来の希望 (2) ー家庭復帰、結婚、自立ー

家庭への復帰希望、結婚への願望、施設から出て自活する自信の有無については、「家庭へ帰って、親と一緒に暮らしたい」と回答した割合は、27.2% (前回 29.7%)、「将来は結婚して家庭をつくりたい」と回答した割合は、46.5% (前回 55.8%)、「施設を出て、自分で生活することに自信がある」と回答した割合は、33.1% (前回 32.3%) となっている。

表40 児童養護施設の年長児童の将来の希望(家庭復帰、結婚、自立)

	実数	家庭復帰	結婚したい	生活していく自信
総数	7,738	27.2%	46.5%	33.1%
男	3,714	27.7%	46.0%	36.5%
女	3,419	27.7%	47.9%	29.8%
中3	1,943	38.0%	44.8%	35.9%
高1	1,852	31.2%	44.3%	31.7%
高2	1,643	23.1%	49.2%	31.9%
高3・4	1,588	18.4%	50.6%	34.8%
大・専・職	155	12.9%	47.7%	31.6%
その他	108	16.7%	40.7%	22.2%

8 友人関係

友人関係については、「信頼できる友達がありますか」という質問に対して、「いる」と回答した割合は、74.9% (前回73.8%)、「いない」は7.7% (前回7.9%)、「わからない」は16.1% (前回16.7%) となっている。

表41 児童養護施設の年長児童の友人関係

	実数	いる	いない	わからない
総数	7,738	74.9%	7.7%	16.1%
男	3,714	80.0%	6.8%	12.3%
女	3,419	70.8%	8.5%	20.2%
中3	1,943	75.4%	8.1%	15.8%
高1	1,852	75.2%	7.0%	16.8%
高2	1,643	76.7%	7.4%	15.3%
高3・4	1,588	76.4%	7.0%	16.1%
大・専・職	155	78.1%	5.8%	15.5%
その他	108	60.2%	13.0%	25.9%

VII 児童自立支援施設の年長児童の状況

1 年長児童の就学状況

今回の調査に回答した児童自立支援施設の中学3年生以上の年長児童数は、459人であった。そのうち男子は316人(68.8%)、女子は139人(30.3%)となっている。また、就学状況別の年長児童数については、「中学3年生」が最も多く、378人(82.4%)となっている。

表42 児童自立支援施設の年長児童の就学状況

	総数	中3	中学卒	高1	高2	高3	高4(定時制)	通信制	高校卒	大・短大	専修学	公職訓	その他
総数	459 100.0%	378 82.4%	29 6.3%	26 5.7%	12 2.6%	6 1.3%	1 0.2%	2 0.4%	-	-	-	-	3 0.7%
男	316 [100.0]	278 [88.0%]	11 [3.5%]	12 [3.8%]	7 [2.2%]	5 [1.6%]	1 [0.3%]	1 [0.3%]	-	-	-	-	1 [0.3%]
女	139 [100.0]	98 [70.5%]	18 [12.9%]	14 [10.1%]	5 [3.6%]	-	-	1 [0.7%]	-	-	-	-	2 [1.4%]

2 生活行動経験

思いやりの行動や社会的自立に関わる行動として、児童養護施設と同様の項目で、それぞれについての経験の有無を聞いた。

そのうち、「自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」が90.0%（前回92.1%）と、最も多く経験している一方で、「一人で銀行や役所（区役所・市役所・町役場等）などで、手続きをしたこと」が8.9%（前回11.3%）と、最も低い割合となっている。

いじめに関しては、「他者をいじめてしまったこと」が46.6%（前回61.0%）、「いじめを受けていたこと」が51.6%（前回39.8%）となっている。

表43 児童自立支援施設の年長児童の経験状況

	実数	ア. 動物の世話を した	イ. 困っている人を 助けた	ウ. 自分で決めた ことをやりとげ た	エ. 自分や友人と 計画して旅行し た	オ. 赤ちゃんの世 話をした	カ. ボランティアをした	キ. 一人で銀行や 役所の手続き をした	ク. 服や物を自分 で選んで買った	ケ. アルバイトなど の仕事をした	コ. 他者をいじめた	サ. いじめを受けた	シ. 虐待を受けた
総数	459	76.7%	83.4%	83.9%	33.8%	45.8%	52.1%	8.9%	90.0%	10.0%	46.6%	51.6%	42.9%
男	316	74.1%	83.9%	86.7%	31.6%	39.9%	52.2%	7.3%	87.7%	8.5%	48.4%	46.2%	38.6%
女	139	82.0%	82.0%	77.7%	38.1%	59.0%	51.8%	12.2%	95.7%	12.9%	41.0%	62.6%	53.2%
中3	378	75.9%	83.1%	86.0%	33.1%	45.0%	51.9%	6.1%	89.7%	4.8%	47.4%	48.9%	41.0%
高1	26	73.1%	76.9%	76.9%	38.5%	65.4%	42.3%	7.7%	76.9%	19.2%	42.3%	69.2%	76.9%
高2	12	100.0%	83.3%	75.0%	33.3%	58.3%	58.3%	33.3%	91.7%	41.7%	58.3%	50.0%	58.3%
高3・4	7	85.7%	100.0%	100.0%	57.1%	28.6%	71.4%	85.7%	100.0%	100.0%	42.9%	42.9%	42.9%
大・専・職	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	3	100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	66.7%	100.0%	33.3%	100.0%	66.7%	66.7%	100.0%	-

(参考) 表43の全質問項目一覧

「ア. 動物などの世話をしたこと」

「イ. 困っている人を助けてあげたこと」

「ウ. 自分で決めた事（スポーツや勉強など）をやりとげ、よくやったなとうれしく思うこと」

「エ. 自分や友人たちと計画して、旅行したこと」

「オ. 赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」

「カ. ボランティアをしたこと」

「キ. 一人で銀行や役所（区役所・市役所・町役場等）などで、手続きをしたこと」

「ク. 自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」

「ケ. アルバイトやパートタイムの仕事をしたこと」

「コ. 他者をいじめてしまったこと」

「サ. いじめを受けていたこと」

「シ. 虐待を受けたこと」

3 大切なこと

児童養護施設と同様に、大切なことと思うものについて3つを選び回答してもらった。

最も割合が高かったことは、「家族と仲良く生活すること」57.1%（前回 55.7%）で、次いで「健康であること」56.6%（前回 45.7%）、「友達がたくさんいること」35.7%（前回 34.6%）となっている。

最も割合が低かったことは、「人のいやがる事をすすんでやること」6.8%（前回 8.0%）で、次いで「勉強ができること」15.5%（前回 15.4%）となっている。

表44 児童自立支援施設の年長児童の大切なこと(3つ選択)

	実数	1 勉強ができる	2 家族と仲良く生活	3 お金がたくさんある	4 友達がたくさんいる	5 健康である	6 特技がある	7 将来に夢がある	8 人のいやがることを進んでやる	9 勇気を持っている	10 安定した仕事をする
総数	459	15.5%	57.1%	25.3%	35.7%	56.6%	27.5%	35.1%	6.8%	18.5%	23.5%
男	316	16.5%	57.3%	21.2%	39.9%	56.6%	26.6%	37.3%	7.3%	16.8%	19.9%
女	139	13.7%	56.8%	34.5%	26.6%	56.8%	28.8%	28.8%	5.8%	22.3%	32.4%
中3	378	16.1%	57.4%	23.3%	38.4%	55.0%	28.0%	35.7%	6.6%	17.5%	21.4%
高1	26	15.4%	69.2%	42.3%	19.2%	69.2%	11.5%	30.8%	3.8%	23.1%	38.5%
高2	12	8.3%	33.3%	58.3%	41.7%	83.3%	33.3%	25.0%	8.3%	8.3%	50.0%
高3・4	7	0.0%	57.1%	14.3%	57.1%	42.9%	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	-
大・専・職	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	3	33.3%	33.3%	33.3%	-	33.3%	66.7%	66.7%	-	33.3%	-

(参考) 表44の全質問項目一覧

- 「1. 勉強ができること」
- 「2. 家族と仲良く生活すること」
- 「3. お金がたくさんあること」
- 「4. 友達がたくさんいること」
- 「5. 健康であること」
- 「6. 運動や歌などで、何か得意なもの（特技）があること」
- 「7. 将来に夢を持っていること」
- 「8. 人のいやがる事をすすんでやること」
- 「9. 勇気を持っていること」
- 「10. 安定した仕事をする事」

4 高等学校（各種学校）進学希望

中学3年生の高等学校又は各種学校への進学希望については、「希望する」が92.3%（前回86.3%）、「希望しない」が3.2%（前回6.3%）、「考えていない」が4.5%（前回6.7%）となっており、前回調査に比べ進学希望者が増加している。

表45 児童自立支援施設の年長児童の高等学校（各種学校）進学希望

	実数	希望する	希望しない	考えていない
中学3年生	378	92.3%	3.2%	4.5%
男	278	91.7%	3.6%	4.7%
女	98	93.9%	2.0%	4.1%

5 大学（短大）進学希望

中学3年生以上の年長児童全員の大学又は短期大学への進学希望については、「希望する」が42.5%（前回35.6%）、「希望しない」が19.6%（前回27.2%）、「考えていない」が36.2%（前回34.6%）となっており、前回調査より進学希望者が増加している。

表46 児童自立支援施設の年長児童の大学（短大）進学希望

	実数	希望する	希望しない	考えていない
総数	459	42.5%	19.6%	36.2%
男	316	42.1%	17.7%	38.6%
女	139	43.2%	24.5%	30.2%
中3	378	45.2%	18.3%	35.2%
高1	26	50.0%	15.4%	34.6%
高2	12	16.7%	33.3%	41.7%
高3・4	7	14.3%	28.6%	28.6%
大・専・職	0	-	-	-
その他	3	-	66.7%	33.3%

6 将来の希望 (1) -職業-

将来なりたい職業については、男子では、「スポーツ・芸能・芸術」13.0%（前回6.9%）、「大工・建設業」7.6%（前回13.3%）、「飲食業・調理など」7.3%（前回6.4%）が上位を占め、女子では、「学校の先生や保育士・看護師など」12.9%（前回17.1%）、「美容師・理容師」11.5%（前回16.6%）、「スポーツ・芸能・芸術」10.1%（前回5.0%）が上位を占めている。

表47 児童自立支援施設の年長児童の将来の希望(職業)

	実数	会社や役所に勤める	工場に勤める	商店・デパート等に勤める	農業・漁業・林業・酪農等	先生・保育士・看護師等	運転手・船乗り・パイロット等	美容師・理容師	飲食業・調理等	スポーツ・芸能・芸術	警察・消防・自衛官	大工・建設業	新聞記者・アナウンサー	医者・弁護士	その他	特に決めていない
総数	459	3.9%	2.6%	1.7%	2.8%	8.7%	2.6%	4.1%	6.3%	12.4%	3.1%	5.7%	-	2.0%	22.7%	20.0%
中3	378	4.0%	2.6%	2.1%	2.9%	8.5%	2.6%	3.7%	6.3%	13.2%	3.2%	6.6%	-	2.1%	20.4%	20.6%
高1	26	3.8%	-	-	3.8%	15.4%	-	11.5%	3.8%	11.5%	-	-	-	-	19.2%	26.9%
高2	12	16.7%	8.3%	-	8.3%	-	-	-	16.7%	8.3%	-	-	-	-	25.0%	16.7%
高3・4	7	-	-	-	-	14.3%	-	-	14.3%	14.3%	-	14.3%	-	-	42.9%	-
大・専・職	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-
男	316	4.7%	3.2%	1.3%	3.5%	6.6%	3.2%	0.9%	7.3%	13.0%	3.8%	7.6%	-	1.3%	19.6%	22.5%
中3	278	4.7%	3.2%	1.4%	3.2%	6.8%	3.2%	1.1%	7.2%	13.7%	3.6%	8.3%	-	1.4%	17.6%	23.4%
高1	12	8.3%	-	-	8.3%	8.3%	-	-	8.3%	8.3%	-	-	-	-	16.7%	33.3%
高2	7	14.3%	-	-	14.3%	-	-	-	14.3%	14.3%	-	-	-	-	28.6%	14.3%
高3・4	6	-	-	-	-	16.7%	-	-	16.7%	-	-	16.7%	-	-	50.0%	-
大・専・職	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-
女	139	2.2%	1.4%	2.9%	1.4%	12.9%	1.4%	11.5%	4.3%	10.1%	1.4%	1.4%	-	3.6%	29.5%	15.1%
中3	98	2.0%	1.0%	4.1%	2.0%	12.2%	1.0%	11.2%	4.1%	11.2%	2.0%	2.0%	-	4.1%	28.6%	13.3%
高1	14	-	-	-	-	21.4%	-	21.4%	-	14.3%	-	-	-	-	21.4%	21.4%
高2	5	20.0%	20.0%	-	-	-	-	-	20.0%	-	-	-	-	-	20.0%	20.0%
高3・4	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大・専・職	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-

7 将来の希望 (2) —家庭復帰、結婚、自立—

家庭への復帰希望、結婚への願望、施設から出て自活する自信の有無については、「家庭へ帰って親と一緒に暮らしたい」と回答した割合は66.7%（前回71.0%）、「将来は結婚して家庭をつくりたい」と回答した割合は61.9%（前回71.3%）、「施設を出て、自分で生活することに自信がある」と回答した割合は49.7%（前回54.3%）となっている。

表48 児童自立支援施設の年長児童の将来の希望(家庭復帰、結婚、自立)

	実数	家庭復帰	結婚したい	生活していく自信
総数	459	66.7%	61.9%	49.7%
男	316	70.6%	60.4%	49.7%
女	139	57.6%	66.2%	49.6%
中3	378	72.0%	62.2%	51.1%
高1	26	38.5%	65.4%	34.6%
高2	12	25.0%	66.7%	25.0%
高3・4	7	28.6%	71.4%	71.4%
大・専・職	0	—	—	—
その他	3	33.3%	66.7%	33.3%

8 友人関係

友人関係については、「信頼できる友達がありますか」という質問に対して、「いる」と回答をした割合は、66.0%（前回70.2%）、「いない」は13.5%（前回11.6%）、「わからない」は20.0%（前回17.4%）となっている。

表49 児童自立支援施設の年長児童の友人関係

	実数	いる	いない	わからない
総数	459	66.0%	13.5%	20.0%
男	316	72.2%	9.5%	17.7%
女	139	51.8%	22.3%	25.9%
中3	378	66.1%	13.5%	20.1%
高1	26	61.5%	15.4%	19.2%
高2	12	50.0%	16.7%	33.3%
高3・4	7	100.0%	—	—
大・専・職	0	—	—	—
その他	3	66.7%	—	33.3%

Ⅷ 自立援助ホームの児童の状況

1 児童の就学状況

今回の調査に回答した自立援助ホームの児童数は949人であった。そのうち男子は420人（51.6%）、女子は515人（45.6%）となっている。就学状況別の児童数については、「高校2年生」が最も多く、141人（14.9%）となっている。

表50 自立援助ホームの児童の就学状況

	総数	中3	中学卒	高1	高2	高3	高4(定時制)	通信制	高校卒	大・短大	専修学	公職訓	その他
総数	949 100.0%	1 0.1%	92 9.7%	101 10.6%	141 14.9%	139 14.6%	22 2.3%	107 11.3%	48 5.1%	55 5.8%	28 3.0%	4 0.4%	190 20.0%
男	420 [100.0]	-	65 [15.5%]	51 [12.1%]	60 [14.3%]	56 [13.3%]	9 [2.1%]	41 [9.8%]	24 [5.7%]	10 [2.4%]	8 [1.9%]	2 [0.5%]	91 [21.7%]
女	515 [100.0]	1 [0.2%]	27 [5.2%]	50 [9.7%]	81 [15.7%]	81 [15.7%]	13 [2.5%]	65 [12.6%]	24 [4.7%]	44 [8.5%]	19 [3.7%]	2 [0.4%]	97 [18.8%]

2 児童の生活行動経験

思いやりの行動や社会的自立に関わる行動として、児童養護施設と同様の項目で、それぞれについての経験の有無を聞いた。そのうち、「自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」が91.9%（前回91.3%）と、最も多く経験している一方で、「他者をいじめたこと」が28.0%（前回43.4%）と、最も低い割合となっている。いじめに関しては、「他者をいじめてしまったこと」が28.0%（前回43.4%）、「いじめを受けていたこと」が51.8%（前回55.4%）となっている。

表51 自立援助ホームの児童の経験状況

	実数	ア. 動物の世話をした	イ. 困っている人を助けた	ウ. 自分で決めたことをやりとげた	エ. 自分や友人と計画して旅行した	オ. 赤ちゃんの世話をした	カ. ボランティアをした	キ. 一人で銀行や役所の手続きをした	ク. 服や物を自分で選んで買った	ケ. アルバイトなどの仕事をした	コ. 他者をいじめた	サ. いじめを受けた	シ. 虐待を受けた
総数	949	72.4%	80.9%	75.1%	43.8%	49.3%	62.4%	57.5%	91.9%	86.7%	28.0%	51.8%	64.0%
男	420	67.4%	76.2%	76.2%	41.9%	40.7%	65.7%	55.7%	88.3%	85.2%	32.4%	46.7%	58.8%
女	515	77.3%	85.4%	75.5%	45.6%	57.3%	60.6%	59.2%	95.3%	88.5%	24.9%	56.5%	68.3%
中学卒業	92	70.7%	71.7%	64.1%	38.0%	48.9%	58.7%	51.1%	90.2%	92.4%	40.2%	53.3%	64.1%
高1	101	68.3%	76.2%	79.2%	41.6%	48.5%	67.3%	44.6%	86.1%	69.3%	23.8%	52.5%	59.4%
高2	141	75.2%	87.9%	69.5%	34.8%	52.5%	63.8%	48.9%	96.5%	81.6%	30.5%	46.1%	69.5%
高3・4	161	74.5%	87.0%	88.2%	47.8%	54.0%	65.8%	64.0%	93.8%	89.4%	21.7%	52.2%	63.4%
大・専・職	87	73.6%	80.5%	83.9%	63.2%	52.9%	71.3%	82.8%	94.3%	94.3%	20.7%	58.6%	77.0%
その他	191	67.5%	79.6%	71.2%	46.6%	46.6%	58.1%	57.1%	92.7%	88.0%	26.7%	51.3%	61.3%

(参考) 表51の全質問項目一覧

「ア. 動物などの世話をしたこと」

「イ. 困っている人を助けてあげたこと」

「ウ. 自分で決めた事（スポーツや勉強など）をやりとげ、よくやったなとうれしく思うこと」

「エ. 自分や友人たちと計画して、旅行したこと」

「オ. 赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」

「カ. ボランティアをしたこと」

「キ. 一人で銀行や役所（区役所・市役所・町役場等）などで、手続きをしたこと」

「ク. 自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」

「ケ. アルバイトやパートタイムの仕事をしたこと」

「コ. 他者をいじめてしまったこと」

「サ. いじめを受けていたこと」

「シ. 虐待を受けたこと」

3 大切なこと

児童養護施設と同様に、大切なことと思うものについて3つを選び回答してもらった。

最も割合が高かったことは、「健康であること」57.1%（前回49.6%）で、次いで「お金がたくさんあること」42.8%（前回43.6%）、「将来に夢がある」38.8%（前回40.9%）となっている。

最も割合が低かったことは、「人のいやがる事をすすんでやること」5.5%（前回5.6%）で、次いで「勉強ができること」11.1%（前回9.7%）となっている。

表52 自立援助ホームの児童の大切なこと（3つ選択）

	実数	1 勉強ができる	2 家族と仲良く生活	3 お金がたくさんある	4 友達がたくさんいる	5 健康である	6 特技がある	7 将来に夢がある	8 人のいやがることを進んでやる	9 勇気を持っている	10 安定した仕事をする
総数	949	11.1%	21.0%	42.8%	33.5%	57.1%	26.9%	38.8%	5.5%	22.6%	37.5%
男	420	11.9%	20.7%	41.4%	39.3%	53.3%	31.2%	40.0%	6.4%	21.4%	33.3%
女	515	10.5%	21.6%	44.1%	28.9%	60.8%	22.9%	38.3%	4.7%	23.9%	41.4%
中学卒業	92	7.6%	21.7%	46.7%	32.6%	53.3%	25.0%	26.1%	10.9%	28.3%	38.0%
高1	101	15.8%	23.8%	29.7%	35.6%	52.5%	32.7%	39.6%	5.9%	24.8%	34.7%
高2	141	13.5%	18.4%	38.3%	38.3%	51.8%	36.9%	44.0%	7.8%	24.8%	34.0%
高3・4	161	11.8%	23.6%	39.8%	34.2%	57.1%	29.2%	41.0%	5.0%	16.8%	36.6%
大・専・職	87	16.1%	14.9%	51.7%	31.0%	59.8%	24.1%	36.8%	1.1%	20.7%	43.7%
その他	191	6.3%	20.4%	45.0%	33.5%	64.4%	23.0%	36.1%	1.6%	17.8%	45.0%

（参考）表52の全質問項目一覧

- 「1. 勉強ができること」
- 「2. 家族と仲良く生活すること」
- 「3. お金がたくさんあること」
- 「4. 友達がたくさんいること」
- 「5. 健康であること」
- 「6. 運動や歌などで、何か得意なもの（特技）があること」
- 「7. 将来に夢を持っていること」
- 「8. 人のいやがる事をすすんでやること」
- 「9. 勇気を持っていること」
- 「10. 安定した仕事をする事」

4 大学（短大）進学希望

大学又は短期大学への進学希望については、「希望する」が32.1%（前回27.5%）、「希望しない」が31.6%（前回30.3%）、「考えていない」が29.7%（前回36.1%）となっている。

表53 自立援助ホームの児童の大学（短大）進学希望

	実数	希望する	希望しない	考えていない
総数	949	32.1%	31.6%	29.7%
男	420	31.2%	33.8%	31.0%
女	515	32.8%	30.3%	29.1%
中学卒業	92	20.7%	39.1%	38.0%
高1	101	40.6%	28.7%	25.7%
高2	141	33.3%	30.5%	31.9%
高3・4	161	34.8%	38.5%	21.7%
大・専・職	87	43.7%	14.9%	13.8%
その他	191	19.9%	36.1%	40.8%

5 将来の希望 (1) -職業-

将来になりたい職業については、男子では、「会社や役所に勤める」が7.6%（前回4.3%）、「大工・建設業」が6.0%（前回7.6%）、「スポーツ・芸能・芸術」が6.0%（前回7.3%）で上位を占め、女子では、「学校の先生や保育士・看護師など」が12.0%（前回15.0%）、「飲食業・調理等」が6.6%（前回7.1%）、「美容師・理容師」が5.4%（前回4.5%）が上位を占めている。

表54 自立援助ホームの児童の将来の希望(職業)

	実数	会社や役所に勤める	工場に勤める	商店・デパート等に勤める	農業・漁業・林業・酪農等	先生・保育士・看護師等	運転手・船乗り・パイロット等	美容師・理容師	飲食業・調理等	スポーツ・芸能・芸術	警察・消防・自衛官	大工・建設業	新聞記者・アナウンサー	医者・弁護士	その他	特に決めていない
総数	949	6.2%	1.4%	2.3%	1.2%	9.3%	0.8%	4.2%	5.9%	4.3%	1.3%	3.2%	-	1.3%	19.6%	35.6%
中学卒業	92	3.3%	1.1%	-	2.2%	3.3%	-	4.3%	9.8%	3.3%	2.2%	5.4%	-	3.3%	14.1%	45.7%
高1	101	3.0%	-	5.0%	2.0%	6.9%	1.0%	6.9%	4.0%	5.9%	1.0%	1.0%	-	1.0%	21.8%	36.6%
高2	141	6.4%	-	2.8%	1.4%	8.5%	-	4.3%	7.1%	3.5%	0.7%	2.1%	-	0.7%	23.4%	36.9%
高3・4	161	8.1%	2.5%	2.5%	1.2%	11.8%	1.2%	6.8%	6.2%	3.7%	2.5%	5.0%	-	1.2%	17.4%	26.7%
大・専・職	87	13.8%	-	-	-	23.0%	1.1%	2.3%	2.3%	3.4%	-	4.6%	-	-	23.0%	21.8%
その他	191	4.7%	2.1%	0.5%	0.5%	7.3%	0.5%	2.6%	5.2%	4.2%	1.0%	3.1%	-	1.0%	22.5%	40.3%
男	420	7.6%	1.9%	1.0%	1.7%	5.7%	1.7%	2.6%	5.2%	6.0%	2.1%	6.0%	-	1.2%	18.3%	36.2%
中学卒業	65	4.6%	1.5%	-	3.1%	3.1%	-	1.5%	10.8%	4.6%	3.1%	7.7%	-	1.5%	10.8%	46.2%
高1	51	3.9%	-	3.9%	2.0%	2.0%	-	5.9%	3.9%	7.8%	2.0%	2.0%	-	2.0%	27.5%	37.3%
高2	60	11.7%	-	-	3.3%	6.7%	-	1.7%	1.7%	5.0%	-	3.3%	-	-	21.7%	41.7%
高3・4	65	10.8%	4.6%	1.5%	1.5%	9.2%	3.1%	6.2%	6.2%	3.1%	4.6%	10.8%	-	-	16.9%	18.5%
大・専・職	20	20.0%	-	-	-	10.0%	5.0%	5.0%	5.0%	-	-	10.0%	-	-	15.0%	25.0%
その他	91	5.5%	3.3%	-	1.1%	5.5%	1.1%	-	4.4%	8.8%	2.2%	5.5%	-	1.1%	19.8%	35.2%
女	515	5.2%	1.0%	3.5%	0.6%	12.0%	0.2%	5.4%	6.6%	3.1%	0.6%	1.0%	-	1.2%	20.4%	35.9%
中学卒業	27	-	-	-	-	3.7%	-	11.1%	7.4%	-	-	-	-	7.4%	22.2%	44.4%
高1	50	2.0%	-	6.0%	2.0%	12.0%	2.0%	8.0%	4.0%	4.0%	-	-	-	-	16.0%	36.0%
高2	81	2.5%	-	4.9%	-	9.9%	-	6.2%	11.1%	2.5%	1.2%	1.2%	-	1.2%	24.7%	33.3%
高3・4	94	6.4%	1.1%	3.2%	1.1%	13.8%	-	6.4%	6.4%	4.3%	1.1%	1.1%	-	2.1%	17.0%	33.0%
大・専・職	65	12.3%	-	-	-	27.7%	-	1.5%	1.5%	4.6%	-	3.1%	-	-	23.1%	21.5%
その他	98	4.1%	1.0%	1.0%	-	8.2%	-	5.1%	6.1%	-	-	1.0%	-	-	25.5%	45.9%

6 将来の希望 (2) ー家庭復帰、結婚、自立ー

家庭への復帰希望、結婚への願望、施設から出て自活する自信の有無については、「家庭へ帰って親と一緒に暮らしたい」と回答した割合は、10.5% (前回 13.3%)、「将来は結婚して、家庭を作りたい」と回答した割合は、49.9% (前回 56.9%)、「施設を出て、自分で生活することに自信がある」と回答した割合は、34.0% (前回 33.5%) となっている。

表55 自立援助ホームの児童の将来の希望(家庭復帰、結婚、自立)

	実数	家庭復帰	結婚したい	生活していく自信
総数	949	10.5%	49.9%	34.0%
男	420	11.9%	48.3%	37.6%
女	515	9.5%	52.0%	31.3%
中学卒業	92	12.0%	53.3%	38.0%
高1	101	10.9%	47.5%	32.7%
高2	141	13.5%	55.3%	35.5%
高3・4	161	9.9%	55.3%	39.1%
大・専・職	87	6.9%	49.4%	34.5%
その他	191	9.4%	44.5%	28.8%

7 友人関係

友人関係については、「信頼できる友達がありますか」という質問に対して、「いる」という回答をした割合は、67.8% (前回62.9%)、「いない」は14.1% (前回18.8%)、「わからない」は17.0% (前回16.8%) となっている。

表56 自立援助ホームの児童の友人関係

	実数	いる	いない	わからない
総数	949	67.8%	14.1%	17.0%
男	420	69.0%	15.0%	15.5%
女	515	66.8%	13.6%	18.6%
中学卒業	92	59.8%	22.8%	16.3%
高1	101	64.4%	16.8%	17.8%
高2	141	73.0%	9.2%	17.7%
高3・4	161	75.2%	8.7%	15.5%
大・専・職	87	74.7%	10.3%	13.8%
その他	191	63.9%	13.1%	21.5%

Ⅷ 障害児入所施設の児童の状況

1 障害児入所施設の設置状況

今回の調査に回答した施設数は418であった。そのうち福祉型は240（57.4%）、医療型は178（42.6%）となっている。

表57 障害児入所施設の設置状況

	総数	福祉型	医療型
施設数	418	240	178
	100.0%	57.4%	42.6%

2 契約、措置の割合

障害児入所施設に入所している児童は、8,244人であった。そのうち措置4,805人（58.3%）、契約は3,338人（40.5%）となっている。

表58 障害児入所施設の入所児童数

	児童数			構成割合(%)	
	総数	措置	契約	措置	契約
総数	8,244	4,805	3,338	58.3%	40.5%
男	5,332	3,063	2,201	57.4%	41.3%
女	2,885	1,726	1,130	59.8%	39.2%
0歳	6	4	2	66.7%	33.3%
1歳	24	14	10	58.3%	41.7%
2歳	85	32	53	37.6%	62.4%
3歳	77	41	35	53.2%	45.5%
4歳	139	77	62	55.4%	44.6%
5歳	200	123	74	61.5%	37.0%
6歳	233	150	82	64.4%	35.2%
7歳	281	155	118	55.2%	42.0%
8歳	335	215	117	64.2%	34.9%
9歳	373	238	131	63.8%	35.1%
10歳	424	255	165	60.1%	38.9%
11歳	491	290	196	59.1%	39.9%
12歳	550	317	226	57.6%	41.1%
13歳	634	377	249	59.5%	39.3%
14歳	697	405	282	58.1%	40.5%
15歳	804	463	330	57.6%	41.0%
16歳	939	548	380	58.4%	40.5%
17歳	992	568	409	57.3%	41.2%
18歳以上	955	531	414	55.6%	43.4%
平均年齢	13.0歳	12.9歳	13.1歳	-	-

3 入所時の年齢別児童数

障害児入所施設に入所する児童の平均年齢は8.3歳（前回8.6歳）であった。

表59 入所時の年齢別児童数

	児 童 数	構成割合(%)
	障害児入所施設	障害児入所施設
総数	8,244	100.0%
0歳	121	1.5%
1歳	292	3.5%
2歳	441	5.3%
3歳	608	7.4%
4歳	531	6.4%
5歳	518	6.3%
6歳	869	10.5%
7歳	491	6.0%
8歳	479	5.8%
9歳	463	5.6%
10歳	510	6.2%
11歳	497	6.0%
12歳	630	7.6%
13歳	485	5.9%
14歳	482	5.8%
15歳	548	6.6%
16歳	210	2.5%
17歳	57	0.7%
18歳以上	3	0.0%
平均年齢	8.3歳	-

4 在所期間別児童数

障害児入所施設に入所している児童の平均在所期間は4.7年（前回4.6年）であった。

表60 在所期間別児童数

	児童数	構成割合(%)
	障害児入所施設	障害児入所施設
総数	8,244	100.0%
1年未満	1,321	16.0%
1年以上3年未満	2,130	25.8%
3年以上5年未満	1,630	19.8%
5年以上7年未満	1,162	14.1%
7年以上9年未満	819	9.9%
9年以上11年未満	556	6.7%
11年以上13年未満	333	4.0%
13年以上15年未満	200	2.4%
15年以上17年未満	66	0.8%
17年以上	18	0.2%
平均期間	4.7年	-

5 入所経路

障害児入所施設に入所する前に児童が生活していた場所については、家庭(58.6%)が最も高い割合を占めた。次いで医療機関(12.2%)、乳児院(8.2%)の順であった。

表61 施設への入所経路別児童数

	総数	家庭	乳児院	児童養護施設	他の児童福祉施設	里親家庭	家庭裁判所	医療機関	ファミリーホーム	その他
児童数	8,244	4,828	678	639	544	69	6	1,004	25	349
	100.0%	58.6%	8.2%	7.8%	6.6%	0.8%	0.1%	12.2%	0.3%	4.2%

6 就学状況

就学状況としては小学校(29.6%)、中学校(25.7%) 高校 (30.2%) の割合となっている。

高校卒業後、大学若しくは特別支援学校に進学したのも66人(0.8%)いた。

表62 就学状況別児童数

	総数	就学前(未就園)	就学前(保育園等)	就学前(幼稚園)	小学校低学年(1~3)	小学校高学年(4~6)	中学校	中学卒				高校卒						
								高校(公立)	高校(私立)	就職	その他	大学・短大(公立)	大学・短大(私立)	特別支援学校専攻科	専修学校	職業訓練校	就職	その他
障害児入所施設	8,244	584	54	104	985	1,452	2,116	2,447	43	1	225	5	-	61	-	1	3	81
	100.0%	7.1%	0.7%	1.3%	11.9%	17.6%	25.7%	29.7%	0.5%	0.0%	2.7%	0.1%	-	0.7%	-	0.0%	0.04%	1.0%

7 心身の状況

児童の心身の状況(複数回答)については、知的障害(73.3%)が最も該当児童が高く、次いで広汎性発達障害(28.6%)、重度心身障害(23.3%)となっている。

表63 心身の状況別児童数

	総数	該当あり	心身の状況(複数回答)																			
			身体虚弱	肢体不自由	重度心身障害	視覚障害	聴覚障害	言語障害	知的障害	てんかん	外傷後ストレス障害(PTSD)	反応性愛着障害	注意欠陥多動性障害(ADHD)	学習障害(LD)	広汎性発達障害(自閉症スペクトラム)	チック	吃音症	発達性強固運動障害	高次脳機能障害	その他の障害等	LGBT	該当しない
障害児入所施設	8,244	8,195	278	1,073	1,922	303	229	601	6,041	1,510	44	300	904	79	2,359	29	28	38	26	1,065	3	49
	100.0%	99.4%	3.4%	13.0%	23.3%	3.7%	2.8%	7.3%	73.3%	18.3%	0.5%	3.6%	11.0%	1.0%	28.6%	0.4%	0.3%	0.5%	0.3%	12.9%	0.0%	0.6%

注)「心身の状況」の構成割合は、総数に対する割合であり、複数回答のため100%を超える場合がある。

8 罹患傾向

児童の罹患傾向(複数回答)をみると、「罹患傾向あり」の割合が36.9%で、ひきつけ、風邪、湿疹等が上位理由を占めている。

表64 罹患傾向別児童数

	総数	ほとんど病気をしない	罹患傾向あり	罹患状況内訳(複数回答)					
				ひきつけたことがある	下痢をしやすい	よく熱をだす	風邪をひきやすい	湿疹が出やすい	その他
障害児入所施設	8,244	5,161	3,044	806	245	540	644	599	1,296
	100.0%	62.6%	36.9%	9.8%	3.0%	6.6%	7.8%	7.3%	15.7%

注)「罹患状況内訳」の構成割合は、総数に対する割合であり、複数回答のため100%を超える場合がある。

9 特に支援上留意している点

支援上の留意点（複数回答）としては、「精神的・情緒的な安定」（65.1%）「基本的な生活習慣」（62.6%）「家族との関係」（53.8%）といった対人面を重視した支援をしていた。

表65 特に支援上留意している点別児童数

	総数	特に留意している点あり	留意点(複数回答)																				
			精神的・情緒的な安定	友人との関係	職員(里親・養育者)との関係	家族との関係	学習への興味・関心	思いやり	基本的な生活習慣	将来設計	男女交際	自主性・積極性	自己表現力	文化的背景	経済観念	医療的対応	心理的対応	社会規範	就職及び就業の安定	行動上の問題	発達支援	その他	特になし
障害児入所施設	8,244	8,223	5,369	2,881	139	4,436	1,404	1,397	5,159	1,089	660	1,640	2,867	188	483	3,378	1,438	1,243	418	2,785	3,750	94	21
	100.0%	99.7%	65.1%	34.9%	1.7%	53.8%	17.0%	16.9%	62.6%	13.2%	8.0%	19.9%	34.8%	2.3%	5.9%	41.0%	17.4%	15.1%	5.1%	33.8%	45.5%	1.1%	0.3%

注)「留意点」の構成割合は、総数に対する割合であり、複数回答のため100%を超える場合がある。

10 学業の状況

学業の状況については、「遅れがある」（66.9%）が最も高く、次いで「特に問題なし」（30.7%）「すぐれている」（1.4%）という結果であった。

表66 学業の状況別児童数

	総数	すぐれている	特に問題なし	遅れがある
障害児入所施設	7,502	104	2,304	5,021
	100.0%	1.4%	30.7%	66.9%

注) 就学前は、調査対象外。

11 通学状況

通学状況については、「普通に通学」が最も高く、その割合は、93.4%となっている。

表67 通学状況別児童数

	総数	普通に通学	欠席しがち
障害児入所施設	7,502	7,010	280
	100.0%	93.4%	3.7%

注) 就学前は、調査対象外。

X 障害児入所施設の入所時の家庭の状況

1 入所理由

入所理由について、最も高い理由としては「児童の障害」(49.6%)となっている。

また、一般的に「虐待」とされる「放任・怠だ」「虐待・酷使」「棄児」「養育拒否」を合計すると、62.1%となっている。

表68 入所理由別児童数(主な理由)

	児童数	構成割合(%)
	障害児入所施設	障害児入所施設
総数	8,244	100.0%
父の死亡	86	1.0%
母の死亡	232	2.8%
父の行方不明	57	0.7%
母の行方不明	126	1.5%
父母の離婚	588	7.1%
父母の不和	178	2.2%
父の拘禁	50	0.6%
母の拘禁	80	1.0%
父の入院	36	0.4%
母の入院	200	2.4%
家族の疾病の付き添い	23	0.3%
次子出産	124	1.5%
父の就労	316	3.8%
母の就労	334	4.1%
父の精神疾患等	273	3.3%
母の精神疾患等	1,762	21.4%
父の放任・怠だ	632	7.7%
母の放任・怠だ	1,643	19.9%
父の虐待・酷使	806	9.8%
母の虐待・酷使	1,139	13.8%
棄児	70	0.8%
養育拒否	831	10.1%
破産等の経済的理由	194	2.4%
児童の監護困難	1,788	21.7%
児童の障害	4,085	49.6%
その他	1,665	20.2%

2 被虐待経験の有無、虐待の種類

「虐待経験あり」に該当する割合は、41.2%となっている。

また、内訳としてはネグレクト(61.1%)が最も高く、次いで身体的虐待(45.0%)であった。

表69 被虐待経験の有無及び虐待の種類

	総数	虐待経験あり	虐待経験の種類(複数回答)				虐待経験なし	不明
			身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	心理的虐待		
障害児	8,244	3,397	1,527	167	2,077	615	4,335	479
入所施設	100.0%	41.2%	45.0%	4.9%	61.1%	18.1%	52.6%	5.8%

注)「虐待経験の種類」の構成割合は、「虐待経験あり」に対する割合であり、複数回答のため100%を超える場合がある。

3 入所時の保護者の状況

入所時に「両親又は父母のどちらかあり」の割合が最も高く、96.8%であった。

表70-1 入所時の保護者の状況別児童数

	総数	両親又は父母のどちらかあり	両親ともいない	両親とも不明
障害児	8,244	7,980	196	62
入所施設	100.0%	96.8%	2.4%	0.8%

「両親又は父母のどちらかあり」の児童についてみると、最も割合の多い保護者は「実父母有」で48.1%、次いで「実母のみ」で33.8%となっている。

表70-2 両親又は父母のどちらかありの保護者の状況別児童数

	総数	実父母有	実父のみ	実母のみ	実父養母	養父実母	養父養母	養父のみ	養母のみ
障害児	7,980	3,841	742	2,694	120	518	21	14	17
入所施設	100.0%	48.1%	9.3%	33.8%	1.5%	6.5%	0.3%	0.2%	0.2%

「両親ともいない・不明」の児童についてみると、祖父母が養育を行っている割合(45.3%)が最も高かった。

表70-3 両親ともいない・不明の保護者の状況別児童数

	総数	祖父母	養父母の親	兄・姉	義兄義姉	伯(叔)父母	義伯(叔)父母	里親	その他	なし	不明
障害児	258	117	2	27	1	28	1	7	21	38	16
入所施設	100.0%	45.3%	0.8%	10.5%	0.4%	10.9%	0.4%	2.7%	8.1%	14.7%	6.2%

4 入所時の家庭の課税状況

入所時の課税状況についての割合は「所得税課税」(53.9%)の割合が最も高く、次いで生活保護受給世帯(15.3%)であった。

表71 入所時の家庭の課税状況

	総数	生活保護受給	所得税課税	その他	不明
障害児	8,244	1,262	4,442	544	1,908
入所施設	100.0%	15.3%	53.9%	6.6%	23.1%

XI 障害児入所施設の家族との関係

1 家族との交流関係

家族との交流関係については、家族との電話・メール・手紙、面会、一時帰宅を通じて「交流のある」割合は 83.3%であった。家族と「交流なし」の割合は 16.0%であった。

表72-1 家族との交流関係別児童数

	総数	交流あり			交流なし
		電話・メール・手紙	面会	一時帰宅	
総数	8,244	1,068	3,632	2,166	1,315
	100.0%	13.0%	44.1%	26.3%	16.0%

注) 「交流あり」の構成割合は、総数に対する割合である。

次に家族との交流頻度であるが、家族との電話・メール・手紙、面会、一時帰宅を通じて「年2回～11回」が最も高く、それぞれ 57.2%、59.9%、48.2%となっている。

表72-2 家族との交流頻度別児童数

	児童数	構成割合(%)
	障害児 入所施設	障害児 入所施設
【電話・メール・手紙】		
総数	1068	100.0%
月1回以上	257	24.1%
年2回～11回	611	57.2%
年1回ぐらい	198	18.5%
【面会】		
総数	3,632	100.0%
月1回以上	932	25.7%
年2回～11回	2,177	59.9%
年1回ぐらい	517	14.2%
【一時帰宅】		
総数	2,166	100.0%
月1回以上	983	45.4%
年2回～11回	1,045	48.2%
年1回ぐらい	133	6.1%

2 今後の見通し

退所後移行予定先別に見てみると、「18歳後、移行予定あり」が43.2%、「18歳後、移行予定なし」が36.1%の割合となっている。

表73 児童の今後の見通し別児童数

	総数	保護者のもとへ復帰	親類等の家庭への引き取り	18歳後、移行予定あり	18歳後、移行予定なし	養子縁組	里親・ファミリーホーム委託	医療機関へ移行予定	他施設へ移行予定	その他
障害児	8,244	930	15	3,564	2,972	2	13	31	308	357
入所施設	100.0%	11.3%	0.2%	43.2%	36.1%	0.0%	0.2%	0.4%	3.7%	4.3%